

長崎市立長崎商業高等学校野球部 第98回全国高等学校野球選手権大会出場記念

禁転載 ©朝日新聞長崎総局・長崎県朝日会

The Asahi Shimbun JAPAN'S LEADING NATIONAL NEWSPAPER

2016年7月24日(日)

朝日新聞

速報号外

第98回全国高校野球選手権
長崎大会



朝日新聞
ご購読のお申し込みは
0120-33-0843

長崎商 甲子園へ

決 勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
長 崎 商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大 村 工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



29年ぶり7回目の甲子園出場を喜ぶ長崎商の選手たち＝県営

第98回全国高校野球選手権長崎大会(朝日新聞社、県高野連主催)は24日、県営野球場で決勝があり、長崎商が大村工を下し、29年ぶり7回目の甲子園へ出場を決めた。

大村工下し、
7回目



平成28年(2016年)7月8日～8月13日
各新聞社掲載記事特集

▽2回戦
佐世保南 0000002000
001203000X62
長崎商
▽三塁打 吉牟田(佐)小出、
平野(長)
▽二塁打 島向、浦山(佐)
▽試合時間 2時間4分
【評】長崎商がそのない攻めと、本田の力投で好発進した。
長崎商は三回1死一塁から小出の適時三塁打で先制。四回は1死一、三塁から吉田の右犠飛、平野の適時三塁打で2点を加え、六回には辻の適時打などで試合を決定付ける3点を挙げた。本田はテンポよく96球で完投した。
佐世保南は七回、島向の2点適時二塁打で反撃したが、後続を断られた。

長崎商、投打かみ合う



【2回戦、佐世保南一長崎商】2失点完投した長崎商のエース本田＝県営ビッグNスタジアム(則行優志撮影)

エース本田、本領発揮

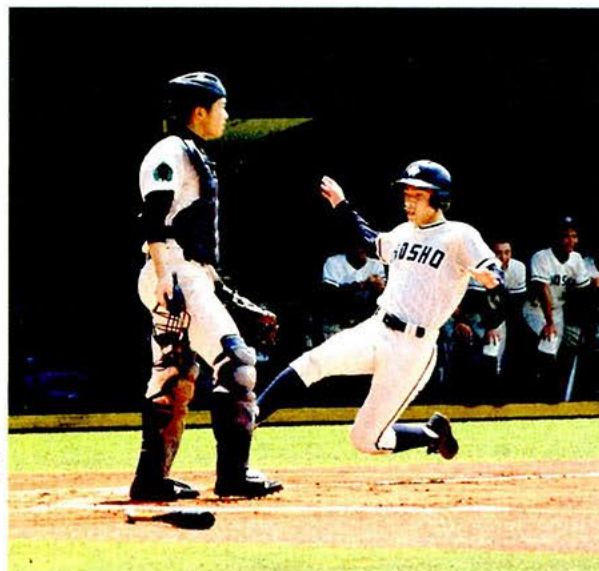
○…第2シードの長崎商が危なげなく初戦を突破。先発の右腕本田が佐世保南を2得点に抑えて完投した。頼れるエースは「雨で調整不足だったが、丁寧なピッチングを心掛けた」と振り返った。
ピンチにも動じない精神力が身上。本領を発揮したのは0-0の二回、1死三塁の場面だった。「狙って取った」と、決め球のシュートで後続を連続三振。その後もストライク先行の投

球でチームのリズムをつくった。これに応え、打線も援護。捕手で主将の小出が適時三塁打を放って先制すると、エンドランやスクイズなど小技も絡め、得点を重ねた。
投打がかみ合った快勝に西口監督は「落ち着いてやってくれた。うちのチームらしさが出せた」と満足げな様子。小出は「元気、勢いを大事にしたい」と先を見据えた。

(松本文泰)



佐世保南一長崎商
二回裏長崎商1死一
塁、本田が送りパン
トを決める。捕手吉
牟田＝県営



【佐世保南一長崎商】6回長崎商1死3塁、吉田の犠打で3塁走者沢山が生還(捕手・吉牟田)

長崎商6-2 佐世保南

【佐世保南】		打	安	点
④	川内	4	1	0
⑥	泉	4	2	0
⑨	山田	4	0	0
⑤	六寺	4	0	0
②	吉牟田	4	1	0
③	清戸	2	1	0
H	3	1	1	0
3	浦山	1	1	0
H	7	2	0	0
R	1	0	0	0
①	吉田	1	3	1
⑧	島向	3	3	0
	計	33	7	2

【長崎商】		打	安	点
⑨	澤山	3	2	0
⑤	吉野	2	0	2
④	平出	2	2	1
②	小出	4	2	1
③	辻	4	2	1
⑧	中	3	1	0
⑥	海	3	1	0
①	田上	3	1	0
⑦	森本	1	0	0
	計	27	9	5

佐7100105
振球犠盗失併残
長27613110

投手	回	打	安	振	球	責
島向	8	40	9	2	7	5
本田	9	34	7	7	1	2

2016年(平成28年)7月16日 土曜日

長崎新聞

2016年(平成28年)7月16日(土曜日)

長崎新聞

8強出そろう

長崎商 4-0 佐世保工

【長崎商】	打安点
⑨ 澤山	3 1 0
⑤ 吉田	4 1 0
④ 平野	3 0 0
② 小出	2 0 0
⑧ 田中	4 3 4
⑥ 森海	2 0 0
③ 辻	4 1 0
① 本井	3 0 0
⑦ 田上	4 0 0
計	29 6 4

【佐世保工】	打安点
⑦ 城島	4 1 0
⑤ 橋口	3 0 0
② 石橋	3 1 0
② H 清水	1 0 0
③ 武田	2 0 0
③ 1 初山	1 0 0
⑧ 松本	3 1 0
⑥ 井上	3 1 0
④ 9 野元	0 0 0
⑨ 3 石橋	1 0 0
⑨ H 宮本	2 0 0
④ H 樋口	2 0 0
6 坂口	1 0 0
計	29 5 0

長 7 5 3 0 0 1 6
振球犠盗失併残
佐 7 0 1 0 0 1 3

投手回	打安振球責
本田 9	30 5 7 0 0
野元 5	24 5 4 5 4
初山 4	13 1 3 0 0

18日の成績

【県営ビッグNスタジアム】
▽3回戦
長崎日大 19-5 諫早
佐世保北 4-3 長崎総合科学大付
【佐世保市総合グラウンド野球場】
▽3回戦
海星 2-1 長崎北
長崎商 4-0 佐世保工

きのうの成績

【県営ビッグNスタジアム】
▽3回戦
大村工 2-1 松浦
清峰 9-0 長崎西
(7回コールド)
【佐世保市総合グラウンド野球場】
▽3回戦
波佐見 10-1 国見
(7回コールド)
創成館 7-0 島原農
(8回コールド)

あすの試合

【県営ビッグNスタジアム】
▽準々決勝
海星-創成館(10時)
波佐見-長崎商(13時)
【佐世保市総合グラウンド野球場】
▽準々決勝
佐世保北-清峰(10時)
大村工-長崎日大(13時)



第10、11日

長崎商 完封勝ち

エース本田 5安打無四球

▽3回戦
長崎商 3 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 4
佐世保工 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
【評】長崎商の先発本田が佐世保工を5安打無四球に抑え、完封勝ちした。本田は四回まで三塁を踏ませない安定した投球。五回に長打を含む連打で無死一、三塁のピンチを迎えたが、後続を併殺、三振に仕留めた。無失策のバックも光った。打っては田中が初回の中越え3点適時三塁打など、4打数3安打4打点で全得点をたたき出した。佐世保工は、先発野元が立ち上がりに苦しんだ。

2016年(平成28年)7月22日

金曜日

波佐見、痛い、11残塁

◆ 県営

▽準々決勝

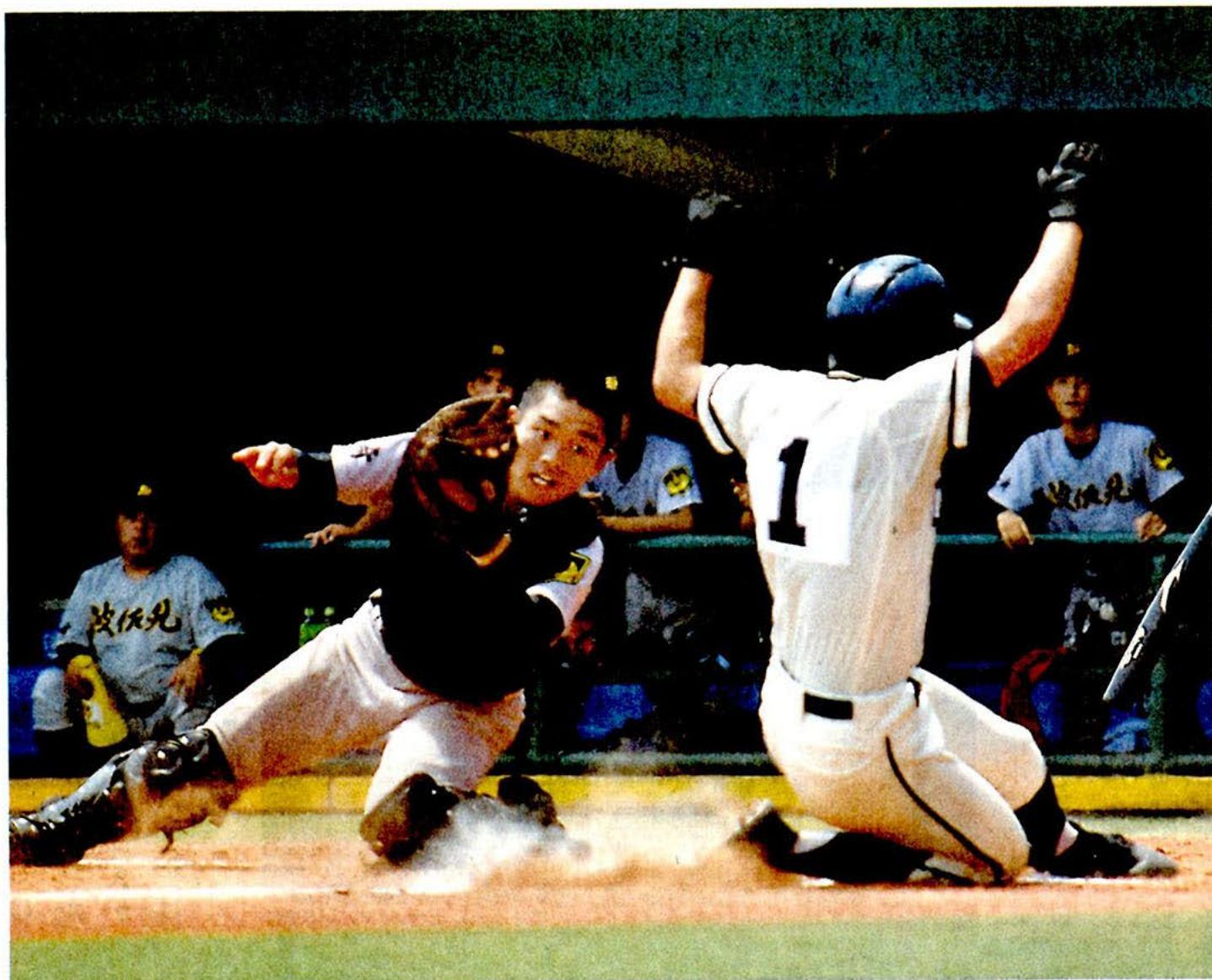
波長	佐崎	見商	000	010	000	1
			312	000	00×	6

⑩…長崎商が序盤に着実に得点し、3年連続4強入り。初回、田中の適時三塁打などで3点を先制。二、三回は犠打を絡めて加点した。先発本田は12安打を許すも1失点。走者を出してから強気の投球が光った。波佐見は五回、平野の適時打で1点返したが、11残塁と本塁が遠かった。2、3番手の投手は被安打ゼロと好投をみせた。

投手	回	安
平野	3	5
隅田	3	0
堀畑	2	0
本田	9	12

田中 池田陸
内野 柴田 村
川大▽審判(球)
千住(塁)永井
白木 本多

【長	崎	商	打	安	点
右三	沢	山	2	0	0
捕中	吉	田	2	0	0
一	平	野	4	0	0
遊投	小	出	3	1	0
左	田	中	3	2	2
振	池	辻	2	0	0
	森	海	3	1	0
	本	田	2	0	0
	井	上	2	0	0
	球	残	2	0	0
	3	4	2	0	0
	4	1	5	0	0
	5	4	5	0	0
			25	5	5

[illegible]

波佐見一長崎商 二回裏長崎商1死二、三塁、吉田の二ゴロの間に三塁走者本田が生還。捕手黒田＝県営

2016年(平成28年) 7月24日 日曜日

エース粘投逃げ切る

▽準決勝

長崎商

0001101000
0001010000
23

清峰

▽二塁打

山口(清)

▽試合時間

2時間20分

小出、本田(長)

【評】長崎商が少ない好機を生かして確実に得点。エースも粘投し、逃げ切った。

長崎商は七回以外、毎回走者を背負う苦しい展開だったが、再三のピンチを先

発本田の気迫あふれる投球と、内外野の堅い守備陣でしのいだ。四回、4番小出が先制打。五回はスクイズ

七回は内野ゴロの間にそれぞれ1点を追加した。清峰は12安打を放った

が、残塁14。3点目のホームが遠かった。

本田「最後は気持ち」

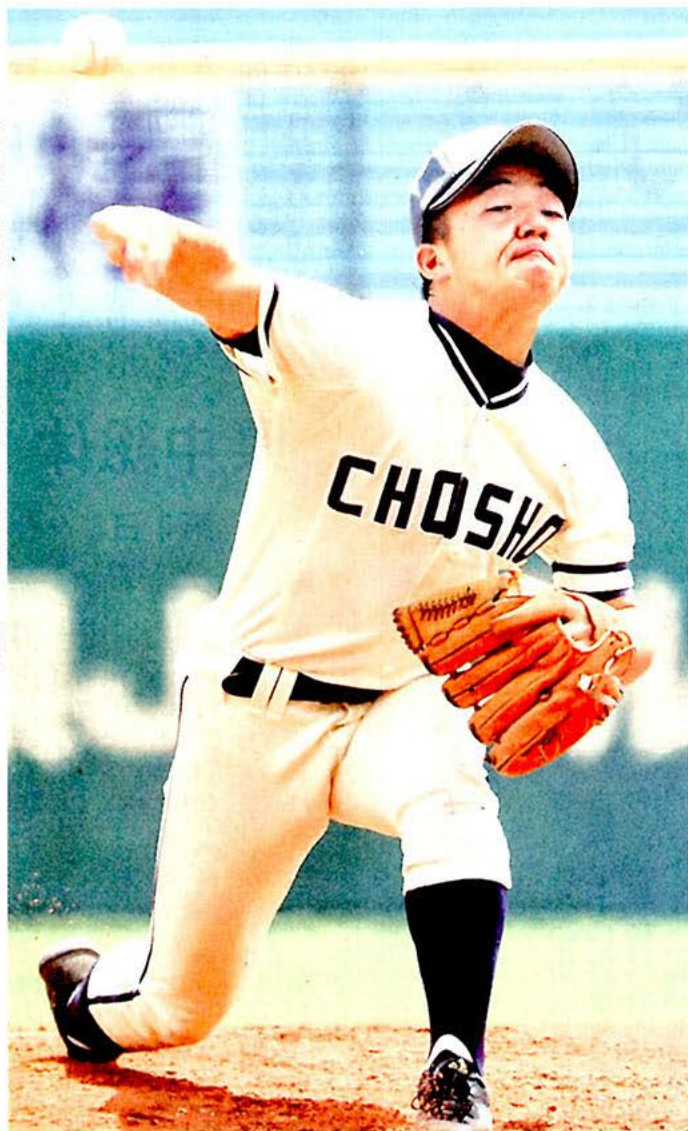
九回2死一、三塁。守だった。

る長崎商のリードはわずか1点。打席には3安打を許している清峰の主将岩田。「最後は気持ちで出してもエース本田の粘り強い投球と堅い守備で負けなように」。そんな思いを込めた本田の1

自球

12球目。高々と上がった打球は中堅田中のグラブにしっかりと収まった。闘争心をむき出しにしていた本田はマウンドでにっこり。準決勝で2

年連続敗退していた長崎という間に先制した。同点ぶりの「夏」を取りに行商がその壁を越えた瞬間で迎えた五回にはスクイク。(山口栄治)



【準決勝】長崎商―清峰 2失点完投した長崎商のエース本田

県営ビッグNスタジアム(田中英樹撮影)

長崎商3―2清峰

【長崎商】	山海野出中	辻	善口田田上	計
⑨⑥④②⑧③H4⑤①⑦	打3434231034317	安0100000000003	打3434231034317	安0100000000003

【清峰】	金子藤金山澤岡	山森岩岸豊安天久	計
④H44⑧⑥⑨⑦H2⑤①R1③	打1101543415401000232	安110000000000012	打1101543415401000232

投手	回	打	安	振	球	責
本田	9	43	12	1	6	2
川村	5	20	5	2	0	2
岸野	3	13	1	0	3	0
天	1	4	1	0	0	0

決勝の見どころ

本田VS強力打線

城田、白石らを擁する強力打線の大村工と、エース本田を中心とした堅実な守りからリズムをつくる長崎商。今季初対戦の両校は実に対照的。ただ、冬場の厳しい練習で夏の王者にふさわしい力を備えてきたところは共通している。大村工は春の県大会、長崎商は6月のNHK杯でそれぞれタイトルを手に入れている。終盤まで1点を争う好ゲームを期待したい。

大村工はチーム打率3割6分6厘。長打力のある一番城田から切れ目がなく、ビッグインングを狙える打線だ。準決勝も6回、5番松森からの3連打で一気に逆転した。投手陣は準々決

勝までの3試合を秀島、大石、松尾で継投。準決勝は3人に続き、九回のピンチで八坂を登板させた。取られても取り返す展開のためには継投のタイミングも鍵になりそうだ。

長崎商は4試合36イニングを本田が一人で投げ抜いてきた。防御率は1・25。準々決勝、準決勝ともに12安打を浴びたが、それぞれ1点と2点に抑えた。疲労はあるが「最後は気持ち」とピンチでも動じず、インコースを突く精神力は頼もしい。チーム打率は2割4分3厘ながら犠打やヒットエンドランを絡めそつがない。僅差の展開なら長崎商ペースか。(山口栄治)

今季初対戦 対照的な両校

きのうの成績

【県営ビッグNスタジアム】

▽準決勝

大村工 4-3 創成館
長崎商 3-2 清峰

きょうの試合

【県営ビッグNスタジアム】

▽決勝

大村工-長崎商(13時)

第98回 全国高校野球 長崎大会

第13日

第98回全国高校野球選手権 長崎大会第13日は23日、長崎だ。両校は今季初対戦となる。公立校同士の決勝は2006年の清峰-波佐見以来。

大村工は序盤に2点を先行されたが、六回に四球と敵失などで好機を得ると5、6、7番の3連打で4点を挙げて逆転。九回2死から1点を返されたが、最後は4番手八坂がピンチをしのいで4-3で準決勝へ試合が行われ、大創成館に競り勝った。

大村工

長崎商

きょう決勝

清峰-長崎商は中盤までは清峰を3-2で退けた。長崎商が先行し、清峰が追い付く一進一退の展開。長崎商 県営ビッグNスタジアムで決

は七回に勝ち越すと、終盤の勝を実施する。大村工が勝てピンチを先発本田の気迫の投球と堅い守りで切り抜け、粘夏切符となる。(山口栄治)

長崎商 西口監督

両監督に聞く

大村工 高比良監督

最後まで伸び伸び野球

立ち上がりをしっかり



▲長崎商の西口博之監督

西口 決勝の雰囲気は準決勝までとは全然違う。その中で「しん」と出せるかどうか鍵。立ち上がりをしっかり抑えられればいい試合になると思う。

9日から13日間にわたって熱戦を繰り広げてきた長崎大会、55校が敗退し、決勝の舞台に残ったのは、初優勝を目指す大村工と29年ぶりの7度目の夏の甲子園を狙う長崎商に絞られた。大村工・高比良俊作監督、長崎商・西口博之監督に相手の印象や意気込みを聞いた。(山口栄治)

西口 破壊力がある打線。とにかくランファン振ってくるイメージ。

高比良 一回戦で負けても決勝で負けても甲子園には行けない。本田君を攻略するのは簡単ではないと思うが、最後まで自分たちがいい伸び伸びとした野球をしたい。



▲大村工の高比良俊作監督

「これまでの戦いを振り返って。」

高比良 犠打よりも連打で2点、3点取っていく野球ができていい。走塁など細かいミスはあるが、それも自分たちだし。

西口 本田がしっかり投げ、少ないチャンスを得点に結び付けるうちの野球ができていい。毎日のバント練習が生きている。

「対戦相手の印象を。」

高比良 本田君が素晴らしい。犠打ができ、守りも堅い。

◇県営
▽準決勝

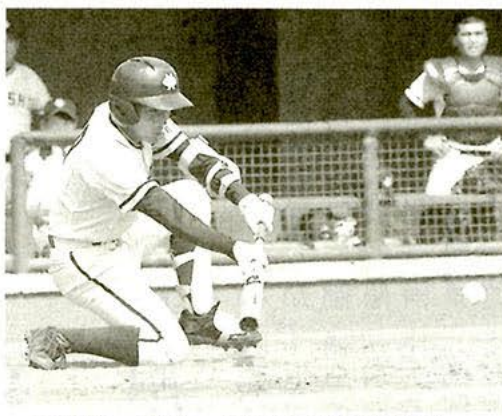
長崎商	000	110	100	3
清峰	000	101	000	2

④…長崎商は犠打を絡めるなどして着実に得点を重ね、競り勝った。同点とされ迎えた七回、四球や敵失などで得た好機を生かし、勝ち越し。完投した本田は走者を出しながらも要所を締める投球で、バックも好守でもりたてた。清峰は相手を上回る12安打を放ったが14残塁と本塁が遠く、九回も2死一、三塁の好機に後が続かなかった。

長崎商―清峰 四回表長崎商1
死二塁、小出の左前安打で二塁
走者森海が生還し、先取点を挙
げる。捕手森川―いずれも県営

長崎商、競り勝つ

バント、確実に



長崎商一清峰 五回表長崎商1死
二、三塁、沢山のスクイズで三塁走
者吉田が生還し、2点目を挙げる

練習を重ねたバントが決まり、7安打の長崎商が12安打の清峰に競り勝った。長崎商は同点に追いつかれた直後の五回表、2連打後に送りバントで好機を広げ、1死二、三塁の場面。沢山礼宏君（2年）が低め

て、スクイズを決めた。「長商はバント。練習してきたので自信はあった」と沢山君。西口博之監督も「あの1点をとれたのが大きかった。少ない安打で勝つ、うちらしい野球ができた」と振り返った。

春の県大会では要所でバ

ントが決まらず、準決勝で競り負けた。その反省からチームはバント練習に注力。「近い距離から練習して、基礎からやり直した」と沢山君。清峰戦は先制点もバントからだった。四回表に単打で出塁した走者を送りバントで二塁に進め、四番小出凌太郎君（3年）の一打で得点につなげた。練習の成果は守りにも出た。一、八回には走者一塁の場面のバントを二塁で刺し、三回には併殺に仕留めた。捕手で主将の小出君は「守備が突出した選手がいるわけではないけれど、粘り強く守り勝つ」。スクイズを決めた沢山君は「決勝も長商らしい攻撃で、競り勝ちたい」と意気込んだ。

(真野啓太)

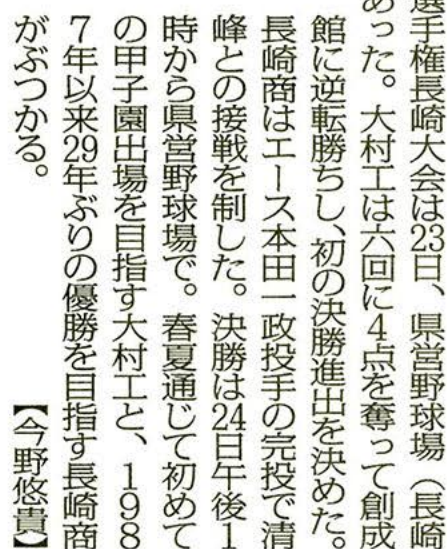
【右遊一捕中一打二三投左	長崎	商	打	安	点	振	球	犠	失
	崎	山	得	安	点	振	球	犠	失
	沢	海	0	0	1	0	1	1	0
	森	野	3	0	1	1	0	0	1
	平	出	4	0	1	0	0	1	0
	小	中	0	2	1	1	0	0	0
	田	辻	4	0	0	0	1	1	0
	森	善	2	0	0	0	1	0	0
	森	口	1	0	0	0	0	0	0
	吉	田	0	0	0	0	0	0	0
	本	上	3	1	1	0	0	1	0
	井	田	0	1	2	0	0	0	0
		上	4	0	1	0	0	1	2
		残	3	0	1	0	0	0	0
			7	3	3	7	3	2	4

[illegible]

投手	回	打	安	振	球	失
本 田	9	43	12	16	62	
岸 川	5	20	52	02	2	
豊 村	3	13	10	31		
天 野	1	41	00	00		

三小出 本田 山口 匠長1
清1 墨本田 天野▽審判(球)
谷端(墨) 白木 中山 國竹

創成館と清峰は惜敗



【今野悠貴】

長崎商が七回1死満塁から森海稀選手の内野ゴロで勝ち越した。

三塁の好機を作ったが、一打が出なかった。14残塁が響いた。

①きょうの試合①

13時 大村工一長崎商

本田一政投手は12被安打だったが、要所を締めて完投。清峰は1点を追う九回に2死一、

計 3073計 3212 2

▽二塁打 小出、
本田(長)山口(清)
▽試合時間 2時
間20分



読売新聞の購読申し込みは
フリーダイヤル 0120-4343-81
または <http://434381.jp> へ

読売新聞

7月24日 日曜日
2016年(平成28年)
読売新聞西部本社
〒100-8381
東京都中央区幸町1-16-5
電話 (03) 715-4111(代)
<http://www.yomiuri.co.jp/>

号外

長崎商 甲子園へ



大村工に競り勝って甲子園出場を決め、抱き合って喜ぶ長崎商の選手たち（24日、長崎市の長崎県営野球場で）—浦上太介撮影



大長 村崎
▽決 勝

工商

0	0
0	1
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	1

第98回全国高校野球選手

権長崎大会は24日、長崎市の県営野球場で決勝が行われた。長崎商が大村工を1—0で破り、29年ぶり7度目となる夏の甲子園出場を決めた。

長崎商は二回二死一、三塁の好機に井上の左前適時打で先制。エース本田は連投の疲れも見せず、粘り強い投球で強打の大村工打線を零封した。

◆長崎商の戦績◆

▽2 回 戦	6—2	佐世保南
▽3 回 戦	4—0	佐世保工
▽準々決勝	6—1	波佐見
▽準決勝	3—2	清峰

決勝【長崎商 大村工】先制点を喜ぶ長崎商の生徒たち（24日午後1時28分、長崎市で）一佐藤陽撮影



歓喜の長崎商応援団



準決勝【長崎商 清峰】勝負強い打撃を見せた小出選手



準決勝【長崎商 清峰】力投する本田投手

朝日新聞

速報号外

第98回全国高校野球選手権
長崎大会朝日新聞
ご購読のお申し込みは
0120-33-0843

長崎商 甲子園へ

決 勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
長 崎 商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大 村 工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



29年ぶり7回目の甲子園出場を喜ぶ長崎商の選手たち＝県営

第98回全国高校野球選手権長崎大会(朝日新聞社、県高野連主催)は24日、県営野球場で決勝があり、長崎商が大村工を下し、29年ぶり7回目の甲子園へ出場を決めた。

大村工下し、
7回目



朝日新聞

速報号外

第98回全国高校野球選手権
長崎大会



朝日新聞
ご購読のお申し込みは
0120-33-0843

長崎商 甲子園へ

決 勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
長 崎 商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大 村 工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



29年ぶり7回目の甲子園出場を喜ぶ長崎商の選手たち＝県営

第98回全国高校野球選手権長崎大会(朝日新聞社、県高野連主催)は24日、県営野球場で決勝があり、長崎商が大村工を下し、29年ぶり7回目の甲子園へ出場を決めた。

大村工下し、
7回目



朝日新聞

速報号外

第98回全国高校野球選手権
長崎大会朝日新聞
ご購読のお申し込みは
0120-33-0843

長崎商 甲子園へ

決 勝	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
長 崎 商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大 村 工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



長崎商－大村工 二回表長崎商2死一、三塁、井上が先制の適時打を放つ。捕手白石＝県営

第98回全国高校野球選手権長崎大会(朝日新聞社、県高野連主催)は24日、県営野球場で決勝があり、長崎商が大村工を下し、29年ぶり7回目の甲子園へ出場を決めた。

大村工下し、
7回目



長崎商29年ぶり甲子園

本田投手が強力打線を完封



優勝が決まり、指を立てて喜ぶ長崎商の本田一政投手

第98回全国高校野球選手権長崎大会は24日、長崎市の県営野球場で決勝があり、長崎商が1-0で大村工を降し、29年ぶり7回目の夏の甲子園出場を決めた。長崎商のエース本田一政投手が大村工の強力打線を完封し、二回に挙げた1点を守りきった。大村工は悲願の甲子園初出場は成らなかった。全国大会は兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で8月7日、開幕する。

【今野悠貴、今手麻衣】

▽決勝(県営)	
長崎商	大村工
00100000000001	00000000000000

長崎商 打安点	
⑨ 山田 2	000
⑨ 沢田 1	000
⑤ 吉平 3	100
④ 小田 3	100
② 田中 4	100
⑧ 池田 3	100
③ 森 2	000
H 3	100
⑥ 森 1	000
① 森 4	100
⑦ 井上 3	111

計 315 1

大村工 打安点	
⑤ 田中 4	100
④ 城 4	200
② 白石 4	200
③ 山田 2	100
④ 佐々木 4	100
⑦ 松田 4	100
⑨ 村松 3	100
⑧ 中村 4	000
⑥ 森 3	000
① H 2	000
① 大松 0	000

計 338 0

長6310070	振球犠盗失残併
大81111181	

投手	回	安責
本田	9	80
秀島	7	30
大石	1	00
松尾	1	20

▽二塁打	田中
(長)白石	(大)時
▽試合時間	18分

決勝は1点を争う好ゲームとなった。長崎商は二回、安打や敵失などで2死一、三塁の好機を作ると、井上弘太選手が左前適時打を放って先制。しかし、その後は、大村工の先発・秀島輝哉投手に抑え込まれた。大村工は六回一死一、三塁からダブルスチールを仕掛けたが、三塁走者が挟殺され、好機を逃した。八回にも一死二、三塁の好機を作ったが、後続が続かなかった。長崎商の本田一政投手は8被安打を許したが完封。守備陣の堅守も光った。

目標「全国制覇」 9番が優勝導く

○：決勝までの全試合45イニングを一人で投げきった長崎商のエース本田一政投手。最後の打者を内野ゴロに打ち取ると、指を立てて喜んだ。試合後は「これまでのことを思い出して、涙が止まらなかった。身長163センチと小柄だが、「小さくてもできる」ということを見せつけたかった。この日も八回のピンチの場面で、強気にインコースへ直球を投げ込み、相手打者を打ち取った。甲子園での目標を問われ、「全国制覇です」と言い切った。

○：決勝点となったのは、二回に長崎商の井上弘太選手が放った適時打だった。2死一、三塁の好機で、緩い力一をうまくとらえ、左前に運んだ。「変化球が多かったので、狙っていた」。一塁へ走りながら、大きくガッツポーズ。「自分の一打で先制できて、うれしかった」。9番打者の一打がチームを優勝へ導いた。

赤タオルで応援

○：長崎商のスタンドでは全校生徒がスクールカラーの赤のタオルを手に応援。野球部の寮長、吉原俊彦さん(71)は「孫たちよ、何が何でも勝ってくれ」とエール。野球部マネジャーの築瀬悠月さん(16)は「このチームなら、やってくれると信じている」と試合の状況を見守った。

一方、大村工は「獅子奮迅」と刺しゅうが入ったはちまきを巻いた野球部員を中心に跳びはねて応援。教員の古川隆さん(58)も「ダイナマイト打線を見せて」と最後まで声を張り上げた。

やっと勝てた 練習成果出た

長崎商・西口博之監督 やっと勝てた。本田投手がよく投げ抜いてくれた。粘り強く守れたことが勝因。甲子園でも「つなぐ野球」をしたい。

長崎商・小出凌太郎主将 とてもうれし。歴代の先輩たちの分も夢をかなえることができた。ミスをしないうと練習した成果が出た。



長崎商

29年ぶり7度目
夏の甲子園へ

【決勝、長崎商―大村工】29年ぶりの優勝を決めて喜びを爆発させる
長崎商の選手たち
＝県営ビッグNスタジアム（田中英樹撮影）

第98回全国高校野球選手権長崎大会最終日は24日、長崎市の県営ビッグNスタジアムで決勝が行われ、第2シードの長崎商が第5シードの大村工を1―0で破り、29年ぶり7度目の夏の甲子園出場を決めた。

【12面に関連記事】

長崎商は二回に9番井上の左前適時打で先制。先発本田は大村工の強力打線を8安打完封した。

全国高校野球選手権は8月7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選会は同4日、大阪市内で行われる。（山口栄治）

[illegible]

無失策でもり立てた。
大村工は相手を上回る8安打を放ったが無得点。三回無死一、二塁から送りバントが併殺になるなど得点機を広げられなかった。

▽二塁打 田中(長)白石(大)
▽試合時間 2時間18分

大村工

▽決勝
長崎商

29年ぶり夏の甲子園出場

0	0
0	1
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	1

01

【評】少ない好機を生かした長崎商が、先発本田の力投とバツクの堅守で大村工に完封勝ちした。

長崎商は二回、先頭田中の死球を足掛かりに敵失などで二死一、三塁とし、井上の左前適時打で先制。この1点を最後まで守り抜いた。本田は直球、変化球とも切れがよく、八回以外は連打を許さなかつた。四球は一つだけで制球が安定。守備陣も無失策でもり立てた。

○：夏の甲子園が決まった瞬間、赤い帽子と黄色いメガホンで鮮やかに染まった三塁側スタンドは大歓声に包まれ、互いに抱き合い、優勝の喜びを分かち合った。

この日は生徒、教職員約700人をはじめ、保護者や卒業生らが続々と球場へ駆けつけた。本田投手がスライクを一つ取るたびに歓声が上がリ、掛け声など約20種類もあるという迫力満点の応援で炎天下の選手たちを励まし続けた。

試合後、本田投手の母董さんは「試合が始まる1時間前に『俺、頑張るけん』とメールが来た。やってくれろと思っていた」と興奮気味に語った。松尾博臣校長は「われわれの誇り。生徒たちの応援も素晴らしい」と、学校一丸となつてつかん勝利を強調。長崎市の田上富久市長は「唯一の長崎市立高ということで長年応援してきた。甲子園でも長崎商らしく戦ってほしい」とエールを送った。

(湯村高大)

(湯村高大)

第98回全国高校野球選手権長崎大会最終日は24日、長崎市の県営ビッグNスタジアムで決勝が行われ、長崎商が大村工を1ー0で破り、優勝を果たした。夏の甲子園は29年ぶり7度目の出場。

長崎商は二回、死球や敵失で2

第98回
全国高校野球
長崎大会

最終目

死一三塁とすると、9番井上が左前にはじき返し、1点を先制した。エース本田は初回から得点圏に走者を背負うなど再三ピンチを迎えたが、持ち前の粘り強い投球で完封。大村工との息詰まる投手戦を制した。

▽2回戦
▽3回戦
▽準々決勝
▽準決勝
▽決勝

6-2	佐世保	南
4-0	佐世保	工
6-1	波佐	見
3-2	清	峰
1-0	大村	工

甲子園への
道のり

沿
革

1885（明治18）年に公立長崎商業学校として創立。1948年、長崎市立長崎商業高校となる。86年に油木町から現在の泉町に新築移転した。全員が情報国際ビジネス科に入学。2年から流通、会計、情報、国際の各ビジネス分野から進学コースを選択する。

校訓は「誠実 明朗 進取」。

卒業生に長崎学の確立者で「長崎

ぶらぶら節」でも知られる古賀十二郎、長崎市長として平和行政に尽力した諸谷義武、甲子園出場後に本県初のプロ野球選手として巨人に入団した内堀保らがいる。生徒数は794人（女子676人）。

野球部は1920（大正9）年創部の古豪。現部員数は83人。甲子園は今回で通算9度目（夏7度、春2度）の出場となる。

スタンド 喜び分かち合う



優勝まであと1死となり、スタンドから懸命に声援を送る長崎商の生徒
=県営ビッグNスタジアム

ひと言

◆井川太郎長 生徒たちがよく頑張った。彼らはピークだった。攻めの気持ちを買った。NHK杯で多くを学んだ。接戦ができ、成長になった。

◆平野太陽内野手
(3年) 去年の大会

のようには打てなかつたが、守備では貢献できた。小学校の時から知る本田、小出と甲子園に行けて本当にうれしい。

◆田中虎次郎外野手
(3年) 決勝は独特の雰囲気だったが、楽しむことができた。ボールに集中し、3回戦準々決勝とチャンスで打ててよかった。

◆森海稀内野手（3年） やってきたことを決勝の舞台でやれた。ベンチ、応援席、いろんな人のサポートで粘り強く戦えた。全国でも自分らしさを出したい。

◆吉田敏貴内野手
(3年) 最高にうれ

守りに自信がある。守りには自信があるので、本田には打たせろと声を掛けていた。甲子園でもしっかりと勝ち進みたい。

澤山しん云外野手

（3年）（七回の守備中に負傷）早くけがを治して憧れの甲子園でプレーしたい。もつと出塁率を上げ、得点のきっかけをつくる。



【決勝、長崎商—大村工】2回表長崎商2死一、三塁、井上が左前に決勝の適時打を放つ
＝県営ビッグNスタジアム（田中英樹撮影）

井上 貴重な適時打

古豪長崎商 夢切符

「本田—小出のバツテリーを中心に粘り強く守る」。チームを語る時、指揮官は何度となくこの言葉を口にしていた。1年時から夏の大会に出場し、負ける悔しさを味わってきた2人。その「経験」が力となり、決勝の大舞台でもチームは落ち着いていた。

象徴的だったのは1点リードの六回、大村工に2死一、三塁とされた場面。重盗を仕



「やっと取れました」。長崎商の西口監督は目を潤ませた。昨年、一昨年と準決勝で敗れ、甲子園出場を逃してきた長崎商。29年ぶりの夢切符をつかみ、悔し涙はようやく、うれし涙に変わった。

「やっと取れた」 西口監督 歓喜の涙

掛いてきた利刃に交し、小出からの二塁送球を本田がカット。同点のホームを狙った走者を三本間で挟殺した。小出は試合後「あれはサイン。一大会に1回あるかどうかだが、練習してきたので慌てなかった」と胸を張った。

打線は二回、先頭田中が死球で出塁。守備妨害、遊ゴロで好機がついたかにみえたが、敵失で2死一、三塁とし、ここで井上が打席に立った。狙っていた変化球を左前に運び、貴重な1点。勝負強さを発揮した9番打者は「必ず点を取るぞと気合が入った。落ちてくれと思いながら走った」と声を弾ませた。

準々決勝からの3試合、チームの安打数は5本、7本、5本。それでもしぶとく点を取り、リードを死守した。「楽な試合は一つもなかった」と西口監督。伝統の「粘りの野球」をやりきった選手たちに、勝利の女神はほほ笑んだ。

（松本文泰）

小さな大エース躍動

ヒーロー

【決勝・長崎商―大村工】8回裏2死1、3塁のピンチを切り抜け、雄たけびを上げる長崎商のエース本田
 〓 県営レックNスタジアム
 (則行優志撮影)

九回2死。最後の打者を決め球のシュートで内野ゴロに打ち取った長崎商のエース本田。塁審の「アウト」のコールと同時に雄たけび

を上げると、仲間が駆け寄ってきた。初戦から全5試合45イニングを一人で投げ抜き、決勝を完封した身長163センチのエースは、歓喜

の輪の中心でもみくちゃにされた。
 1年の秋、捕手から投手に転向。中学時代は「そこそこ抑えていた」が、高校では通用しなかった。OBの助言でシュートを覚え、磨きをかけるために下半身を強化。寒い日も暑い日も2時間、3時間と走り込んだ。

次第に勝てるようになってきたが、昨夏は「ふがいない投球」で準決勝敗退。最後の夏に向け、自分を支えてくれる仲間やOB、そして家族への感謝を胸に「エースの振る舞い」を意識した。苦しさから逃げず、そんなときこそ気丈に振る舞った。

迎えた決勝。疲れはピークだったが、仲間には「大丈夫」と言い切った。大会注目の強力打線を相手に初回から走者を背負ったが、ピンチのたびに闘志をむき出しにした。磨いてきたシュートをインコースに制球よく投げ込んだ。疲れとは裏腹に「途中から力が込み上げてきた」と言うように、九回でも球速は130キロを超え、スタンドはどよめいた。

歓喜の輪から出てくると人目もはばからずにマウンドに倒れ込んで号泣した本田だったが、真っ赤な目で「これまでに負けた仲間の思いも一緒に全国制覇を目指す」と言い切った。小さな大エースは、今度は聖地のマウンドで躍動するつもりだ。

(山口栄治)



本田、強力打線を完封

長崎商、1点死守

◇決勝(県営)

長崎商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大村工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

29年ぶりV



本田が8安打完封

長崎商が29年ぶりに甲子園へ——。長崎大会は24日、県営野球場で決勝があり、長崎商が堅守で1点を守りきり、大村工を破って優勝。夏は7回目となる甲子園出場を決めた。8月7日に開幕する全国高校野球選手権大会に長崎代表として臨む。



⑨最後の打者を二ゴロに打ち取って優勝を決め、喜びを爆発させる長崎商の選手ら
⑩長崎商―大村工 二回表長崎商2死一、三塁、井上が先制の適時打を放ち、これが決勝打となる。捕手白石「いずれも県営

⑩…長崎商がエース本田の気迫の投球と堅守で大村工の攻撃をしのぎ、1点を守りきった。

長崎商は二回、内野ゴロで出塁した森海が敵失で三塁に進み、井上の左前安打で生還し、1点を先制。本田は持ち味の強気を崩さず、打たせて取る投球で完封。相手の好機を併殺で切り抜けるなど、バックも無失策でもり立てた。

大村工は秀島、大石、松尾の継投で相手を5安打に抑えた。八回には田中、白石の連続安打などで好機を作ったが得点できず。相手を上回る8安打を放ちながら本塁が遠かった。

甲子園まずは1勝を

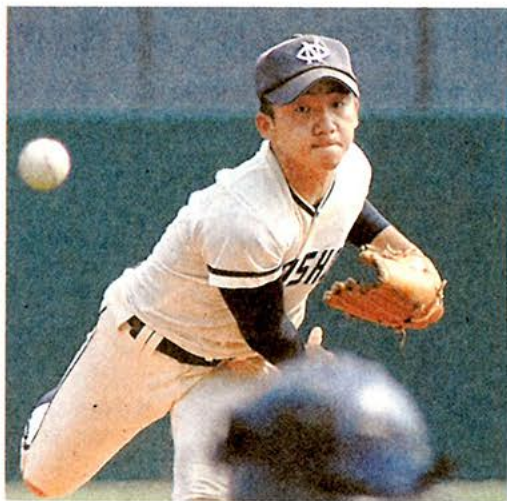
○長崎商・小出凌太郎主将 挑戦は予想していたが自分たちの里球ができた。強打のチームを0点に抑えられたことが大きかった。バント練習など自分たちができることをして、甲子園でまず1勝を目指したい。

先制後に粘りの守り

○長崎商・西口博之監督 先取点を取れて、その後粘り強く守れたことが勝因。本田は大きく荒れることなく、堂々とした投げつきりが頼もしかった。甲子園ではノッテリーを中心とした粘りの野球をしたい。

打たせて取る 応援も力に

2016 夏



長崎商のエース 本田一政投手

九回裏。長崎商の投手本
田一政君(3年)が打者を
2人打ち取り、球場には
「本田コール」が響いた。
3ボール。相手は強力打
線が自慢の大村工。点差は

1点。捕手の小出凌太郎君
(3年)がマウンドにかけ
より、声をかけた。「攻め
るしかないだろ」。フルカ
ウントとした後、応援の声
を力にシュートを投げ込ん
だ。内野ゴロに打ちとり、
ゲームセット。手を広げて
叫ぶ本田君のもとに、小出
君らが駆け寄ってきた。そ
れまでずっと強気で投げ続
けていた本田君だが、仲間
たちに囲まれ、顔をくしゃ
くしゃにして泣き始めた。
この日は相手に8安打を
許しながらもピンチを抑え
た。長崎商も二回に先取点
を挙げてから追加点を取れ
なかった。仲間たちを勢い
づけようとピンチを抑えて
は、ほえた。

「去年は自分のせいで負け
てしまった。先輩たちの悔
しい思いをほらすことがで
きた」と笑顔になった。
身長165センチだが「でっ
かいやつには負けたくない
」という気持ちで練習を
重ねた。毎日数時間の走り
込みで下半身が安定し、制
球力がついた。「絶対打た
れない球に」と磨いたシュ
ートで試合を勝ち取った。
それでも、一番成長した
のは「感謝の気持ちを持て
たこと」という。仲間は最
後まで投げ続けるわがまま
を許してくれた。ずっと投
げ続けても壊れない体を両
親がくれた。「本田コー
ル」のおかげで、苦しくて
も一人じゃないと思えた。
「長崎の球児の思いを背
負って投げてきたい」。様
々な人への思いを胸に甲子
園に臨む。
(田部愛)

【長崎】

打者	得点	安打	打点	盗塁	失点
山田	2	1	0	0	0
田中	1	3	0	0	0
池田	0	0	0	0	0
吉平	0	0	0	0	0
小田	0	0	0	0	0
池田	0	0	0	0	0
森本	0	0	0	0	0
井上	0	0	0	0	0
残	7	3	1	1	0

【大田】

打者	得点	安打	打点	盗塁	失点
村城	4	4	0	0	0
田中	4	4	0	0	0
石田	4	2	0	0	0
中野	2	0	0	0	0
森田	4	0	0	0	0
村瀬	4	0	0	0	0
島野	3	0	0	0	0
石尾	2	1	0	0	0
残	8	3	3	0	0

投手 田中 秀大 島石 尾

回	9	打安	振球	失点
秀大	7	27	34	2
島石	3	30	0	1
尾	1	13	5	2

白石 田中(長) 併長1 三塁
本田 審判(球) 藤瀬(塁) 鴨
川 長谷川 瀬川



第98回 全国高校野球選手権
長崎大会
主催/朝日新聞社・県高野連

一打逆転のピンチが訪れるたび、本
田一政投手へのコールがわき起こっ
た。母の薫さん(47)は「抑えてくれ
ると信じている」と、マウンドを見つめ
続けた。優勝が決まると、「家ではだ
らーっとしているのに、野球をやっ
ている時は全然違う。好きなお肉でお祝
いしたい」と涙をこぼしながら話し
た。
(八尋紀子)

熱いスタンド

長崎商は生徒約700人が駆けつける
全校応援。「今年の野球部はこれまで
と違う」と準々決勝前日に全校生徒で
応援練習をして決勝に臨んだ。マネジ
ャーの志田きりりさん(1年)は「決
勝まで連れてきてもらって感謝です」
と、打者の名前を書いた紙をスタンド
に掲げて声援を引っ張った。応援団長
をした野球部の永尾魁紳君(3年)は
「ヒットが少なくきつい場面が多い
が、スタンドから支えたい」。

好機に盛り上がる
長崎商の生徒たち



ピンチのたびにコール

三塁側 長崎商

「緊迫した試合
まさに決勝戦」
開会式でたたえる
試合後に閉会式が行わ
れ、優勝した長崎商に優勝
旗と盾が贈られた。
県高野連の井上龍二副会
長は「まさに決勝にふさわ
しい緊迫した試合だった。
これから甲子園に向かって
調整を進めてしっかり戦っ
て来て欲しい。長崎旋風を
起こして、優勝旗をぜひ持
ち帰って欲しい」と長崎商
にエールを送った。敗れた
大村工には「最後まで勝敗
が分からない、すばらしい
戦いぶりだった」とたたえ
た。
メダルをかけた両校の選
手がダイヤモンドを行進す
ると、観客席からは大きな
拍手が起こった。
(山野健太郎)



優勝旗を受け取る長
崎商の田中虎次郎君



甲子園出場を決めて選手たちを胸上げさせる長崎商の西口監督
＝県営（ビッグ・ドリーム）（田中英樹撮影）

第98回全国高校野球選手権長崎大会は24日、第2シードの古豪、長崎商が29年ぶりの頂点に立ち、幕を閉じた。大会屈指の右腕本田と重量打線を誇る大村工の決勝は、一投一打に互いの思いがぶつかり合う好ゲームだった。準決勝と決勝の計3試合はいずれも1点差。選抜8強の海星が準々決勝で敗れ、昨夏の王者創成館も準決勝で姿を消した大混戦の大会を総括する。
(山口栄治)

■基本に忠実

長崎商の強みは、本田―小出のバッテリーを中心にした堅い守り。3回戦以降はわずか1失策で、決勝も堅守でピンチをしのいだ。六回、2死一、三塁の場面では大村工の重盗を読んで挟殺。本田は「監督からの『動いてくるぞ』と

いうサインが出ていた。練習で毎日やっているプレーだった」と胸を張った。

攻撃でも手堅さが光った。犠打数は5試合で19。走者を確実に得点圏へ進め、少ない好機を1点につなげた。準々決勝からの3試合はいずれも相手より少ない安打数で競り勝った。

初めて決勝に進んだ大村工は切れ目のない打線で鮮烈な印象を残した。準決勝の創成館戦は「らしさ」が出た。2点を追う六回、好機で5番以下が3連打。一挙4点を奪い、試合をひっくり返した。

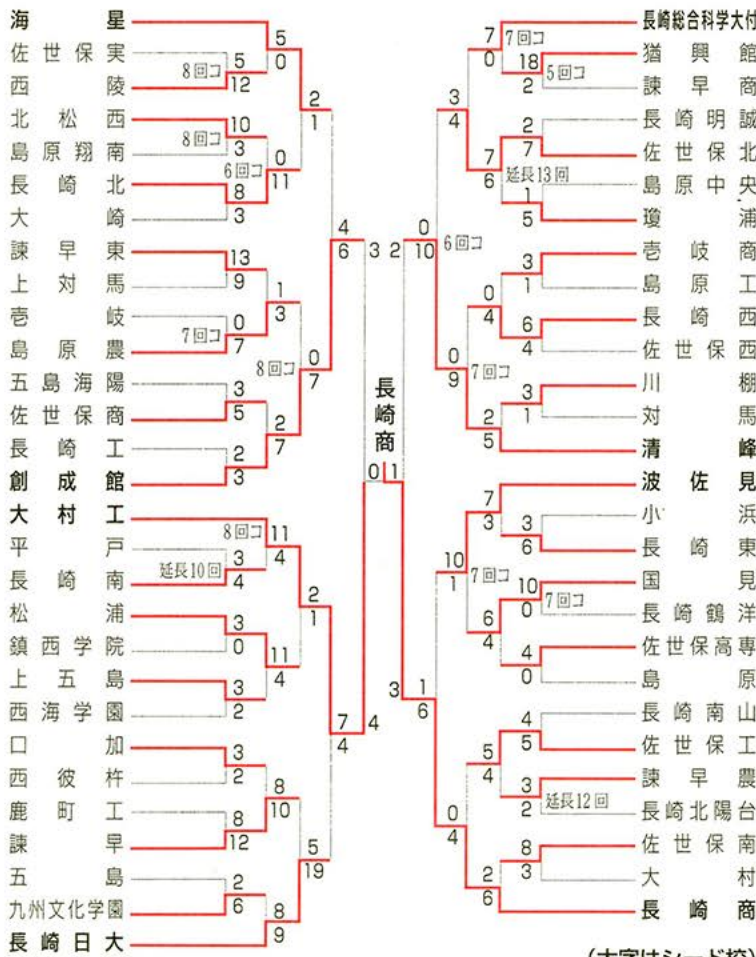
一方で4投手の特長を生かした継投や5試合で計2失策の守備も躍進を支えた。決勝は先発秀島が好

投、救援陣も追加点を与えず、点を奪えない苦しい展開でも互角に渡り合った。

5年ぶりに4強入りした清峰は攻守にバランスが取れていた。制球力のある投手陣と堅守でしっかりと試合をつくった。攻撃陣は相手投手を正確に分析。中盤までに攻略する試合が目立った。

長崎商 手堅い野球で頂点

全国高校野球長崎大会 総評



海星、創成館敗退 大混戦 多かった好ゲーム

■強豪と公立

秋、春、そしてNHK杯。県レベルの大会でいずれも違うチームが決勝に進んでいた今季を象徴するように、今大会も大混戦となった。準々決勝の海星―創成館は昨年、一昨年の決勝と同一カード。ライバル校同士の対戦は一つのアクシデントで流れが大きく変わった。選抜8強の原動力となった海星の左腕春田は四回まで完璧に抑えていたが、五回に強烈な打球を利き手に受けて降板。終盤までリードした海星だったが、創成館が八回に猛攻。一挙6点を奪い、第1シードを破った。

地元選手が中心の公立校の頑張りも目立った。3回戦で第3シードの長崎総合科学大付に競り勝った佐世保北。2ランスクイズなど目まぐるしい練習で磨いてきた技で金星を挙げた。長崎北は海星を、松浦は大村工を、ともに終盤まで苦しみ、1点差で惜敗した。選手層では強豪校に及ばないが、バッテリーを中心とした守りと、犠打や走塁を磨いて勝機を見いだしたチームだった。

参加57校にそれぞれのチーム事情があったと思うが、上位に進出した、強豪校を苦しめたりしたチームは、目指す野球が明確で、そのための努力を重ねてきたに違いない。自分たちのスタイルを磨き、それを貫いて頂点に立った長崎商。甲子園の舞台でも長崎大会同様の「長商野球」で旋風を起してほしい。



壮行会で入場する長崎商の選手たち

甲子園「自信持ちプレー」

長崎商主将、壮行会で決意

第98回全国高校野球選手権長崎大会で優勝し、29年ぶり7度目の夏の甲子園出場を決めた長崎商野球部の壮行会が27日、長崎市泉町の同校体育館で開かれた。

生徒や教職員計約700人が迎える中、優勝旗を持った小出凌太郎主将(17)を先頭に選手たちが入場。松尾博臣校長が「九州最古の商業高校である長商の新たな歴史を打ち立ててくれた。甲子園で校歌を歌いましょう」とあいさつした。

校歌斉唱や応援団によるエールの後、生徒会長の梶聖菜さん(18)が「プレッシャーがあると思うが、全校一丸となって応援するので頑張ってください」と激励した。

壇上上がった選手たちを代表し、小出主将は「自分たちの粘り強い野球で、長崎県に勇気や感動を与えられるよう自信を持ってプレーしたい」と力強く決意表明した。

選手たちは8月2日、甲子園に向けて出発する。

毎日新聞

2016年(平成28年)7月28日(木)

「県民に勇気と希望を」

29年ぶり
夏の甲子園
長崎商野球部壮行会



壮行会を終え、退場する長崎商の選手たち

第98回全国高校野球選手権長崎大会で優勝し、29年ぶり7度目の夏の甲子園出場を決めた長崎市立長崎商業高校野球部の壮行会が27日、同市泉町の同校であった。生徒らからの応援や激励に、選手たちは戦いへの決意を新たにした。

生徒約730人が参加。梶聖菜生徒会長(3年)が「29年分の、先輩たちの気持ちがかもった優勝。県の大会で味わった感動をもう一度一緒に感じたい」とエールを送り、松尾博臣校長(59)も「甲子園とともに校歌を歌いましょう」と激励した。

野球部の小出凌太郎主将(同)は「甲子園では、自分たちの粘り強い野球をして、県民に勇気と感動を与えたい」と決意表明した。同校ナインは8月2日に甲子園へ向けて出発する予定。【今野悠貴】

「勇気と感動与えたい」



入場する長崎商野球部の選手たち
＝長崎市、長崎商高体育館（田中英樹撮影）

甲子園出場の長崎商 壮行会

8月7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会に29年ぶりに出場する長崎商野球部の優勝報告会・壮行会が27日、長崎市泉町の同校体育館であった。在校生ら約800人を前に小出凌太郎主将は「自分たちらしい粘り強い野球で勝って勇気と感動を与えたい」と甲子園での活躍を誓った。

同選手権長崎大会で第2シードの長崎商は本田一小出のバッテリーを中心とした堅守と、少ない好機を得点につなげる攻撃で頂点に立った。

壮行会では小出主将を先頭に選

手18人が入場。松尾博臣校長は「九州最古の商業高校である本校に新しい歴史を打ち立ててくれた。いつも通りの野球で勝ち進んでほしい」と激励。出口喜男同窓会長は「93歳まで長生きをしてよかった」としみじみと喜びを語り、両手に扇子を持って三三七拍子を披露した。

西口博之監督は「皆さんの応援が力になった。甲子園でも攻めの姿勢で勝ちたい」とあいさつした。野球部は8月2日に空路で関西に向かう予定。組み合わせ抽選会は4日に行われる。（山口栄治）

甲子園での活躍誓う

長崎商壮行会 在校生・OBら700人エール

第98回全国高校野球選手権長崎大会で優勝し、29年ぶり7回目の甲子園出場を決めた長崎商の選手たちの壮行会が27日、長崎市の同校であった。体育館に集まった700人以上の在校生や同窓生らが優勝を祝い、選手たちの甲子園での活躍を願ってエールを送った。



壮行会で入場する長崎商の選手たち＝長崎市

松尾博臣校長は「新しい歴史を作ってくれた」と選手らをたたえ、創立131周年の同校の歴史にかけ、「いざいかな甲子園」と呼びかけた。また「浮かれることなく『いつもんど』を心情に置いて試合に臨んで下さい」と激励した。

同校応援部のOBで同窓会長の出口喜男さん(93)は「同窓会長になって23年目で初の甲子園。長生きして良かった」。その後、壇上で扇子を両手に、在学中に覚えたという応援を披露した。

西口博之監督は「自分たちで掲げたテーマは『奪』。まず自分に勝ち、自ら進んで取りに行く」ということを、やれば出来るんだと実証してくれた」と話し、「長商魂を発揮して長商の名前を全国にアピールしていきます」と意気込んだ。小出凌太郎主将は「県代表として自信をもってプレーし、勇気や感動をあたえたい」と決意を述べた。（田部夢）

「勇気や感動与えたい」

甲子園県代表 長崎商で壮行会



全校生徒に迎えられ、壮行会に臨む
長崎商の野球部員

長

崎

新

聞

2016年(平成28年)7月29日 金曜日

「甲子園で一戦必勝」

長崎商選手ら本社訪問



甲子園での活躍を誓う長崎商の選手ら
＝長崎新聞社（則行優志撮影）

第98回全国高校野球選手権大会（8月7～21日）甲子園に、本県代表として出場する長崎商の松尾博臣校長と選手らが28日、長崎市の長崎新聞社を訪れ、才木邦夫社長に全国での健闘を誓った。

長崎商の同選手権出場は29年ぶり7度目。松尾校長のほか、西口博之監督、小出凌太郎主将、田中虎次郎、平野太陽両副主将、本田一政投手も来社した。

バッテリーを中心とし

た堅守で甲子園出場をつかみとった選手たちに才木社長は「緊迫した場面でもチームカラーを出せるところがすごい。全国でも練習で鍛えた力を発揮してほしい」と激励。小出主将は「目標は優勝だが、甲子園の雰囲気慣れて一戦必勝で頑張りたい」と決意を述べた。

才木社長と長崎新聞の販売店主でつくる長崎会の吉川竹二郎副会長が松尾校長にそれぞれ激励金を手渡した。（山口栄治）

古豪復活

長崎商29年ぶりの夏

①上①

第98回全国高校野球選手権長崎大会は、長崎商が決勝で大村工を1-0で破り、29年ぶりに優勝。夏7度目の甲子園への切符を手にした。創部96年目、甲子園初出場は91年前という県内屈指の古豪。その歴史と栄光、復活への歩みを振り返る。

(山口栄治)

決勝から3日後の7月

27日、長崎商体育館で開かれた壮行会。「会長になつて23年目。長生きをして良かった」。同窓会

長の出口喜男(93)は10代の後輩を前にうれしそうに語り掛けた。卒業生2

栄光

万7282人の九州最古の商業高校。多くの同窓生が心待ちにしていた栄冠だった。

創部から約1世紀。野球部は輝かしい歴史を誇る。その象徴が、長崎市の県営ビッグNスタジアムに展示されている一人の選手のユニホームだ。かつて袖を通していたのは、伝説の投手沢村栄治とバツテリーを組んでいた内堀保。長崎商の正捕手とし

91年前甲子園初出場



展示されている内堀選手のユニホーム
＝県営ビッグNスタジアム資料展示室
(田中英樹撮影)

て春の甲子園に出場し、1935年に巨人の前身「大日本東京野球倶楽部」に入団。本県初のプロ野球選手として活躍した。

14年。長崎、福岡、佐賀、大分4県による北九州大会を制してつかんだ快挙だった。戦後間もない52年には、のちにプロとなった太田正男、河津憲一らを擁し、春8強。夏には準々決勝で日大三

(東京)を破って4強入りし、「長商」の名を全国に知らしめた。54年までに夏4回、春2回の甲子園出場を果たした長崎商だったが、その後は海星が本県高校野球界を席巻。69年に15年

ぶりの夏切符を手にしたものの、70年代以降は佐世保工や諫早なども台頭。毎年のように優勝校が入れ替わる中、87年の夏を最後に、甲子園から遠ざかった。

97年夏は決勝に進出。大舞台にあと1勝と迫ったが、届かなかった。直後から監督として指揮を執り始めたのが、91年に長崎商に赴任、92年から部長を務めていた西口博之(55)だった。

母校、長崎商の監督として甲子園で校歌を歌う。そんな夢を描いて教諭になった西口。「若かったからプレッシャーもあったし、勝てなければすぐにお叱りも受けた」。当時36歳。古豪復活は青年監督の手に託された。

(敬称略)

古豪復活

長崎商29年ぶりの夏

① 中 ①



優勝し、感極まった表情で応援席に向かって両手を上げる長崎商の西口監督＝長崎市、県営ビッグNスタジアム（則行優志撮影）

7月24日、第98回全国高校野球選手権長崎大会決勝。息詰まる接戦を制し、大村工を破った長崎商。「甲子園ばい、甲子園ばい、甲子園」。優勝の瞬間、監督の西口博之(55)は込み上げる熱い思いを抑えながら、部長の井川太(45)に語り掛けた。

1997年8月に監督に就任した西口。まず取り組んだのが、体力づくりだった。「夏の厳しい暑さの中、短期間で5試合、6試合と戦い抜くには強靱な肉体が必要。心技体という言葉がある

予 感

が、体力が備わってこそ、技術や精神力が伴う」が持論。冬場は走り込みや筋力トレーニングを徹底した。食事の面でも意識改革を図った。

あいさつやごみ拾い、学校での生活態度など人としての成長も求めた。ここ一番で力を出せるかどうかは「日ごろの行い次第」と考えるからだ。体と心を鍛え抜いた選手たちは次第に成果を出

し始めた。就任4年目で夏の決勝に進出。その後

も毎年のように優勝候補に名を連ねた。2015年までの16年間(05、06年は別の監督)で8強以上11回、このうち、4強以上は6回、決勝には

2回進出した。

こうした活躍は地元の野球少年の心を動かし、女子が8割以上を占める長崎商だが、野球部を志望して受験する男子中学生が少しずつ増え始めた。その一人が今季の

エース本田一政だった。

12年夏の決勝。長崎商は延長の末、佐世保実には敗れた。当時戸町中2年だった本田は、この試合をテレビで見て心に決めた。「長崎商に進む。強い私立を倒して甲子園に

体と心鍛え抜き成長

行く」と。

14年春、30人を超える1年生が入部。その夏、準決勝まで勝ち進んだ。現在の主将、小出凌太郎は全試合三塁手としてスタメン、本田も控えの捕手として途中交代ながら2試合に出場した。この大会で西口が今でも鮮明に覚えているプレーがある。

延長十五回までもつれた準々決勝の佐世保工戦。十一回裏一死満塁のピンチで、三塁ゴロを小出は迷わず本塁に送球。さらに本田が一塁に転送し、併殺に仕留めた。「あの緊迫した場面で平然とプレーしていた。この2人は何かを持っているのかも」。西口の予感は2年後、現実となった。

(敬称略)

復活長商

29年ぶり甲子園

▶上◀

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会に、県代表として長崎商が出場する。1987年以来、実に29年ぶり7度目の夏の甲子園。長崎大会では接戦を次々に制するなど試合巧者ぶりを発揮した。夢舞台の前に、伝統校「長商」の復活の軌跡を探った。

7月24日の決勝、大村工で泣き崩れた。

戦。県営野球場(長崎市) 5試合45点を1人で投げが興奮に包まれる中、マウンド上のエース本田一政投手(3年)は笑っていた。

1-0で長崎商リードの

八回裏、この日初めて連打を許し1死一、三塁。駆け寄る小出凌太郎捕手(3年)

に「攻めようぜ」。小出捕

手は「思い切って投げてこ

い」と応えた。得意のシュ

ートで後続を遊飛と中飛に

打ち取り、最大のピンチを

乗り切った本田投手は、続

く九回を三者凡退に抑え、

悲願の頂点に立った。歓喜

のあまり、今度はマウンド

信頼

成長導いたバッテリー



練習や試合後のクールダウンでは、会話をしながら軽くボールをトスし合う本田一政投手(右)と小出凌太郎捕手

手の好投が光るが、その陰には「投げたい球」を意識した小出捕手の好リードもあった。

小学生の頃から野球仲間

だった2人。本田投手は高

2の春からエースナンバー

をつけた。一方の小出捕手

はもともと三塁手。西口博

之監督が「小出は観察力が優れている。捕手にはもってこいだ」と正捕手に指名したのは昨秋の新チーム結成後だ。

西口監督の指導の下、打

者の姿勢や味方の守備位置

などを冷静に見極める観察

眼を磨いてきた小出捕手。

その結果、春の県大会では準決勝まで勝ち進んだが、頂点には一歩届かなかった。「技術だけでは勝てない。一政との信頼関係で勝

た。コントロールや球種につい

て、本田投手に率直な意見を

を伝えた。練習の合間も積

で夢舞台に挑む。

極的に声を掛けた。

夏の前哨戦とされる5月のNHK杯。小出捕手は「一政の投げたい球が感覚的に分かった大会」と振り返る。

選抜8強の海星や清峰に競り勝ち、ついに優勝。自信を胸に、バッテリーは夏の大会に挑んだ。

決勝の九回2死。小出捕手が選んだ球種は本田投手得意のシュート。「勝負強い一政なら必ずこの球を投げたいはず」。結果は二塁ゴロでゲームセット。試合後、泣き崩れた場面について記者たちに尋ねられた本田投手は「タイムのタイミング、掛けてくれる言葉、気持ちに分かってくれる凌太郎に何度も助けられた」と、小出捕手への感謝の言葉を口にした。

「チーム一つとなって戦うのがうちのスタイル。それでも俺たちが引っ張っていく」と主将でもある小出捕手。チームの成長を支えたバッテリーが、強い覚悟で夢舞台に挑む。

古豪復活

長崎商29年ぶりの夏

① 下 ①

2014年夏。捕手だった1年生の本田一政は新チームから投手に転向した。中学時代に経験があり、「そこそこやれるかな」。自信はあった。

だが、秋の県大会、先発した3回戦の波佐見戦は序盤に打ち込まれ、チームも敗れた。

長崎商OBで投手・バツテリーコーチの小林裕二(51)は敗戦を好機と捉えた。「今投げている直球とスライダーは30点。でもシュートを覚えれば50点にはなる。それぞれの球を磨けば80点にもできる」

信 頼

傷心の本田は、提案を謙虚に受け入れた。「シュートを自分の最大の武器にする」。負けん気の強さに火が付いた。

翌15年夏。投球の幅を広げた本田は準々決勝までほぼ1人で投げ抜き、4強入りした。だが、準決勝は三回までに5失点。疲労のせいかな、思うような投球はできず、チームも2-15で敗れた。新チームの主将になった



決勝で完封勝ちし優勝を決めた瞬間、長崎商のエース本田(右)に駆け寄る捕手小出
=長崎市、県営ビッグNスタジアム(田中英樹撮影)

強い絆のバツテリー

た小出凌太郎を監督の西口博之(55)は三塁から捕手にコンバートした。小

学生時代に同じソフトボールチームで全国準優勝していた小出と本田。2人の信頼関係がバツテリーで生きると考えたから

「初めてのポジションで最初は大変だった」という小出だが、投手の長所を生かした配球、相手打者の研究など捕手として成長。持ち前のリーダーシップを発揮し、チー

ムをまとめていった。その存在は本田にも刺激を与えた。小出の配球に伝えようと、制球力とスタミナを付けるため、毎日のように2時間、3時間走り込んだ。自宅に帰ってから「毎日ダッ

シュで5キロ走った」。

迎えた最後の夏。本田の快投でチームは勝ち進み、決勝の相手は強力打線を誇る大村工だった。1-0の八回、この日初めて連打を許し、1死一、三塁のピンチ。小出はマウンドに向かった。「いい球が来ている。これも強

気で行こう」。本田は笑ってうなずいた。「小出が言うなら間違いない」。要求通りの球を投げ込み、後続2人を抑えた。

九回、最後の打者を打ち取ると、喜びを爆発させながら小出が駆け寄ってきた。自分を信頼し、支えてくれた小出の笑顔を見て、本田は涙が止まらなくなった。

強い絆で結ばれた2人の新たな挑戦が間もなく始まる。(敬称略)

長崎商 甲子園へ出発

「楽しんできて」在校生エール



吹奏楽部(手前)が演奏する「栄冠は君に輝く」を聞き、士気を高める野球部員
＝長崎市、長崎商高

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会に本県代表として出場する長崎商野球部が2日、

甲子園へ向け出発。長崎市長の同校で開いた出発式では在校生や教諭ら約200人が健闘を祈

り、見送った。式では吹奏楽部の約60人が大会歌「栄冠は君に輝く」を演奏。選手らは士気を高めた。生徒会の南岸ちはるさん(18)が「長崎の代表として自信を持って甲子園という舞台を楽しんでください。私たちも力の限り応援します」と励まし、応援部の松岡由樹部長(17)は「フレ、フレ、長商」とエールを送った。小出凌太郎主将は「甲子園では皆さんが(応援に)来て良かったと思えるようなプレーをする」と決意を述べた。長崎商は3日に甲子園練習を行い、4日、抽選会に臨む。(山口栄治)

西 日 本 新 聞

2016年(平成28年)8月3日 水曜日

長崎商 甲子園へ出発

生徒200人や保護者見送る
「厳しい練習 力に変えて」



出発式で応援団からエールを送られる長崎商ナイン

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会(日本高校野球連盟など主催)に出場する長崎商ナインが2日、甲子園に向けて出発した。長崎市泉町の同校で出発式があり、生徒約200人や保護者が選手たちを見送った。生徒を代表して3年南岸ちはるさん(18)が「これまでの厳しい練習を力に変え

て精いっぱい頑張つてほしい」とエールを送った。小出凌太郎主将(3年)は「甲子園に来て良かったと思える試合にする」と力強く語った。長崎商は29年ぶり7度目の出場。3日には甲子園練習に臨む。組み合わせ抽選会は4日に行われ、初戦の相手が決まる。(帖地洗平)

復活長商

29年ぶり甲子園

▶中◀

29年ぶりの夏の甲子園でも勝つ野球は、西口監督が目指したものであった。エース本田一政投手(3)のインタビュに込め

た。県営野球場(長崎市)を見渡しなが

ら「ようやく勝てた。自分たちの野球で勝つことができた」と万感

の思いを口にした。

長崎大会5試合でチーム

打率は2割2分5厘。本塁

打もない。優勝候補だった

大村工や海星のように、長

打力はなかった。決勝のス

コアも1-0。少ない得点

選 球

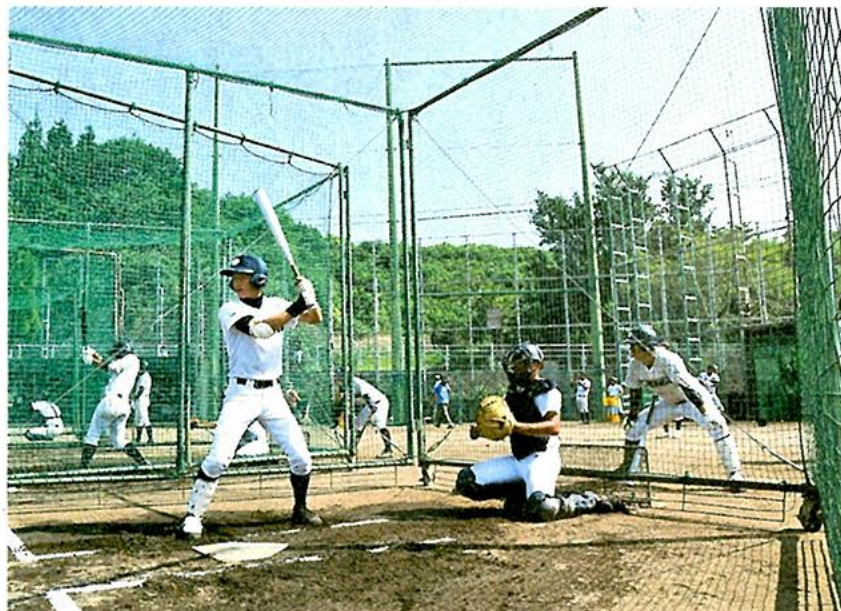
理想の野球夢舞台でも

グラウンドで打撃練習をしていた。5試合で五つの犠打を打っていた。捕手の後方には審判役の選手も。打者が好球かどうか勝手な判定をしないように、審判役が客観的な目でストライク、ボールを判定していた。西口監督は選球眼を磨くこの練習法をすぐに取り入れた。

長崎大会でチーム最高の甲子園出場を果たし、目指してきた野球は間違っ

た。年)の成長の一方で、打撃6打点をたたき出した田中虎次郎選手(3年)は練習監督。「今の野球を甲子園の成果を口にする。」「外角でも貫き通したい。かっこ

意識したのは2014年の長崎がんばらば国体のとた。ボール選びに自信が付いた。磨いた選球眼は「つなぐ。粘ってそして勝つ」。2日、甲子園に向けて出発した長



打撃練習に励む長崎商ナイン。捕手の後方には審判役もいる

商ナイン。見送る生徒や保護者に西口監督は「一球一強く誓った」と力

意気込む18選手

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会に向け、長崎商の選手たちが2日大阪入りした。現地で調整を重ね、初戦に備える。3日には甲子園練習が、4日には組み合わせ抽選会が予定されている。大会を前に、長崎商の選手たちの意気込みを紹介する。(丸囲み数字は背番号)



長崎大会5試合完投

本田一政選手①3年 投手
小柄ながら長崎大会5試合を完投。「強いチームにもおじけずに、強気のピッチングで攻めたい」



主将、強肩強打の捕手

小出凌太郎選手②3年 捕手 強肩、強打の主将。「チームワークと、一人一人の気持ちの強さに注目してほしい」



パワー魅力の右打者

辻義大選手③3年 一塁手 パワーが持ち味の右打者。「長崎大会で打てなかった分、甲子園では打ってチームを助けたい」



昨夏からの中心打者

平野太陽選手④3年 二塁手 昨夏からの中心打者。「長崎大会は打撃で投手を助けられなかったので、甲子園で打ちたい」



小技も得意な三塁手

吉田敏貴選手⑤3年 三塁手 バントなどの小技も得意。「思いっきり、自分たちらしくプレーする。投手を助ける守備をしたい」



遊撃手、送球に安定感

森海稀選手⑥3年 遊撃手 送球が安定している。「守備で投手を助け、攻撃では自分のバッティングをしたい」



左翼手、勝負強い打撃

井上弘太選手⑦3年 左翼手 長崎大会決勝で決勝打を放った勝負強さがある。「元氣あふれるプレーで甲子園をわかせる」



長崎大会では6打点

田中虎次郎選手⑧3年 中堅手 長崎大会では2本の適時三塁打などで6打点。「甲子園に出られる喜びを感じ全力プレーする」



2年生で唯一の先発

沢山礼宏選手⑨2年 右翼手 2年生唯一の先発メンバー。長崎大会で7四死球。「初球から振り、相手にフレッシュを与える」



速球持ち味の右投手

吉村心之介選手⑩3年 投手 右の速球派。「初めての甲子園。楽しく、自分たちらしく、思い切ったプレーをしたい」



左の本格派控え投手

熊谷航選手⑪3年 投手 左の本格派。「長崎大会で登板はなかったが、甲子園で投げる機会があれば腕を振り、しっかり投げる」



控え捕手、左の強打者

森善久選手⑫3年 捕手 左の強打者。「1打席でとにかく一本を出したい。力まずリラックスして、しっかりミートしたい」



長崎大会2安打放つ

池田陸生選手⑬3年 内野手 長崎大会では4打数2安打。「思いっきり打つ。出ない時はチームに活気が出るよう盛り上げる」



50秒6.0秒の俊足選手

元村葉大選手⑭2年 内野手 50秒6.0秒の俊足。「こそこそという場面の代走でホームにかえり、チームに貢献したい」



壱岐出身、光る積極性

小畑祐人⑮2年 内野手 壱岐市出身。積極性がある。「頑張っている姿を見せ、壱岐の人たちに甲子園に続いてもらいたい」



守備力が高い内野手

森口敦史選手⑯2年 内野手 守備力が安定している。「目の前にあることをしっかりこなす。守備での声かけを特に頑張りたい」



強肩外野手、鋭い振り

大山雄汰選手⑰3年 外野手 強肩で、スイングスピードが速い。「打撃に自信があるので、甲子園で自分のスイングをしたい」



外野はどこでもOK

池田碧選手⑱3年 外野手 外野をどこでもこなせる。「いつでも出られる準備をしながら、チームをしっかりサポートしたい」



女子マネ6人共に夢舞台

練習励む選手ら支え

甲子園への切符を29年ぶりにつかみとった長崎商の選手たちを支える、6人の女子マネジャーがいる。日々の練習を支え、選手たちとともに夢舞台に臨



部員たちが使ったコップを洗う田中杏実さん(左)と並内祐希さん。長崎市

む。

2日、大阪入りの道中、選手にマネジャーの1人が声をかけた。「シャツ、出てるよ」。選手は慌てて、服装の乱れを直していた。

マネジャーの仕事は幅広い。部室の掃除、練習に訪れたOBや来客へのお茶出しなど選手や監督をみながら、必要な所で必要に応じて動く。ある日の部活の間、6人は一度も座ることなく動き続けていた。

「日本一の母ちゃんをめさせ。もしマネジャーの県大会があれば絶対に優勝するよ、と言っています」。西口博之監督はそう語る。他校のマネジャーが研修に来ることもあるという。

長崎商の全校生徒794人のうち女子は85%、男子は15%。野球部のマネジャー希望者は毎年10人ほ

るが、面接で各学年2人ずつしか選ばれない。

3年生のマネジャーは、田中杏実さんと並内祐希さん。2人とも「長商のマネジャーになりたい」と進学した。しかし、複数の来客があつた時にお茶を出す順番も敬語も知らないことばかりで、冬場のコップ洗いでは手が荒れた。「知らない世界に飛び込んだ感じだった」と並内さんは笑う。でも、今までマネジャーをやめた人はいないという。「一緒に面接を受けた

けど落ちてしまった友達が『頑張っ』と言ってくれた。その人たちの分も頑張らない」と田中さん。並内さんも「水仕事での手荒れも、バットを振り込んで、まめだらけになった部員の手を見たら平気」と話す。

もうすぐ夢の舞台。田中さんは「頑張るのは当たり前。選手たちに頑張れって言ういたくない」。でも、見守り、支える生活は長崎を離れても変わりはない。

(田部愛)

第98回全国高校野球選手権大会は7日、開幕する。
巧みな試合で長崎大会を勝ち抜いた長崎商。4日には、
組み合わせ抽選会があり、初戦の相手が決まる。甲子園
に臨む選手18人と西口博之監督に意気込みを聞いた。
(この連載は帖地洗平が担当しました)

復活長商

29年ぶり甲子園

▶下▶



選手紹介の見方
選手名の上の白抜き数字
は背番号。◎は主将。
①身長、体重の出身中
学。③大会への意気込み

- ① 本田一政投手(3年)
①165センチ、67キロ。②戸町中
③ピンチでも楽しく投げること
を心掛ける。気持ちを前面
に出した投球でスタンドを沸
かせたい。
- ◎ ② 小出凌太郎捕手(3年)
①171センチ、73キロ。②片淵中
③主将として冷静な試合運び
をしたい。相手より先に点を
取って、逆転を許さず勝利す
る。
- ③ 辻義大一塁手(3年)
①174センチ、80キロ。②岩屋中
③持ち味のバウを生かした
スイングをする。好機には低
く鋭い打球を打ち、勝利に貢
献したい。
- ① 平野太陽二塁手(3年)
①165センチ、63キロ。②深堀中
③低めのストレートは必ず打
ち返す。打っても満足せず、
盗塁をして、1点でも多く点
を奪いたい。



- ⑤ 吉田敏貴三塁手(3年)
①175センチ、74キロ。②大瀬戸
中③長崎大会は失策0で終え
ることができた。捕球とつな
ぐ打撃を意識して勝利をつか
みたい。
- ⑥ 森海稀遊撃手(3年)
①166センチ、67キロ。②小浜中
③コンパクトなスイングで右
翼に打球を打ち返す。一球一
球焦らず、ボールを選び、好
機をつかみたい。
- ⑦ 井上弘太左翼手(3年)
①162センチ、67キロ。②鳴北中
③球速のある投手と対戦した
い。目の前の一球に集中し、
初球からバットを振っていき
たい。
- ⑧ 田中虎次郎中堅手(3年)
①176センチ、78キロ。②海星中
③長崎大会の打率は3割3分
3厘。仲間や家族が喜ぶバッ
ティングで試合の流れをつか
みたい。
- ⑨ 沢山礼宏右翼手(2年)
①170センチ、70キロ。②西彼中
③頭で考えるより、直感で振
つていきたい。9番打者とし
て上位打線につなげるバッテ
ィングをしたい。



- ⑩ 吉村心之介投手(3年)
①178センチ、77キロ。②西浦上
中③直球を中心に緩急を付
けた投球を意識したい。気
持と力で相手打線を抑えた
い。
- ⑪ 熊谷航投手(3年)
①181センチ、81キロ。②小島中
③カーフとスライダーを駆使
して失点を防ぐ。一球を意識
した投球で仲間の期待に応え
たい。
- ⑫ 森善久捕手(3年)
①180センチ、87キロ。②福江中
③フルスイングを心掛け、代
打としての役目を果たした
い。相手投手の自慢の球を無
心で打ち返したい。
- ⑬ 池田陸生内野手(3年)
①181センチ、82キロ。②機屋中
③つなぐ意識を持って打席に
臨みたい。ベンチからは誰よ
りも声を張り上げ、試合を後
押しする。
- ⑭ 元村葉大内野手(2年)
①167センチ、68キロ。②戸町中
③俊足を生かしたフルートをす
る。毎回必ず1度は盗塁を決
め、アルプススタンドを沸か
せたい。



- ⑮ 小畑祐人内野手(2年)
①164センチ、64キロ。②勝本中
③応援もプレーもできる限り
のことをしたい。目の前の相
手に集中し、1試合でも多く
勝ち進みたい。
- ⑯ 森口敦史内野手(2年)
①171センチ、70キロ。②東長崎
中③県代表として攻めの姿勢
を忘れず甲子園に臨みたい。
守備ではピンチの場面で併殺
を狙いたい。
- ⑰ 大山雄汰外野手(3年)
①177センチ、78キロ。②淵中
③自信を持って打席に立ちた
い。家族や友人、応援してく
れた仲間らに恩返しができるブ
レーをしたい。
- ⑱ 池田碧外野手(3年)
①171センチ、71キロ。②丸尾中
③気持ちでは絶対に負けな
い。守備の隙を突いて先の塁
を狙い、追加点をつかんでみ
せる。
- 西口博之監督
選手と力強い声援があつて
の甲子園。感謝の気持ちで試
合に臨み、粘り強い長商の野
球を見せつけ、部員83人と校
歌を歌いたい。

守備中心に甲子園を確認 球場で練習



プレーを確認する長崎商の選手たち。兵庫県西宮市の阪神甲子園球場、林紗記撮影

長崎商の選手たちは3日、阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）での練習に臨んだ。甲子園では、各代表校が入れ替わりで練習するため、許される時間はたったの30分。前日にホテルでミーティングを開き、小出凌太郎主将（3年）を中心に

短時間で効率よく出来る練習メニューを話し合った。

長商魂

3日、小出君のかけ声を合図にグラウンドに入ると、打撃練習はせずに、走者を置いてのノックや投球練習など、持ち味の守備を中心にした練習をこなした。土の感触などを確かめていた。

練習の後、井上弘太君（3年）は「広いなーと思った。観客が入ったらもっと楽しく出来そう」。池田陸生君（同）は「本番は緊張するかもしれないけど、声を出したり足を動かしたりして、慣れていけると思う」と話した。

大会は7日に開幕。4日には組み合わせ抽選会があり、対戦相手と試合日程が決まる。（田部愛）



勢いよくグラウンドに飛び出す長崎商の選手たち（甲子園球場で）

長崎商が甲子園で練習

守備の連係確認

夏の高校野球

全国大会

第98回全国高校野球選手権大会（7日開幕）に出場する長崎商の選手たちが3日、兵庫県西宮市の甲子園

球場で練習を行い、守備の連係などを確認した。

30分間の練習では、試合を想定して黄色いビブスを着けた走者を置いての守備に力を入れた。内野手が走者の動きに敏感に反応するための工夫で、日頃の練習から取り入れているという。西口博之監督は「走者を意識して守ることで大量失点が少なくなった」と狙いを説明した。

練習を終えた小出凌太郎主将は「チーム全体が少し浮足立っていた。気持ちを引き締めて初戦に臨みたい」と気合を込めた。

長崎新聞

8月5日
(金) 先負

花咲徳栄など関東勢続く

第98回全国高校野球選手権大会組み合わせ

①第8日12時00分		②第10日12時30分		③第13日12時00分		④第15日12時30分	
第10日の勝者は準々決勝第1、2試合				第11日の勝者は準々決勝第3、4試合			
①第8日10時00分		②第10日10時30分		③第13日10時00分		④第15日10時30分	
第9日勝者の3回戦は第11日							
③第13日7時00分		④第15日7時30分		①第8日8時00分		②第10日8時30分	
③第13日8時00分		④第15日8時30分		①第9日9時30分		②第12日9時00分	
③第14日9時30分		④第15日11時30分		第1日勝者の2回戦は第7日			
第2、3日勝者の2回戦は第8日				第4、5日勝者の2回戦は第9日			
第1日①10時30分	第1日②13時00分	第1日③15時30分	第2日①8時00分	第2日②10時30分	第2日③13時00分	第2日④15時30分	第3日①8時00分
第3日②10時30分	第3日③13時00分	第3日④15時30分	第3日①8時00分	第3日②10時30分	第3日③13時00分	第3日④15時30分	第4日①8時00分
第4日②10時30分	第4日③13時00分	第4日④15時30分	第5日①9時30分	第5日②12時00分	第5日③14時30分	第6日①8時00分	第6日②10時30分
第6日③13時00分	第6日④15時30分	第7日①8時00分	第7日②10時30分	第7日③13時00分	第7日④15時30分	第7日①8時00分	第7日②10時30分
創志学園	佐久長門	鳴門	智弁	九州国際大	盛岡大	いなほ総合学	鶴岡
中大	高川学	履正社	東邦	北陸	市立	山梨学院	長崎
東横	近畿	関東	広島	京都	樟南	星稜	花咲
大曲	八戸	日南	富山	嘉手	前橋	聖光	クラ
松山	北	作新	秀	常葉	木更津	唐津	明徳
明徳	徳義	佐賀	知	知	知	知	知

左が一塁、ベンチ。準々決勝まで毎試合終了後に、勝利チームの次戦日程を決める抽選を行う。丸数字は出場回数、①は初出場、四角囲みの数字は試合順。

驚いた。どんなくじを引くだろう
か」と書いたのは一昨日。神様が
粋な計らいを用意していた▲夏の
全国高校野球大会の組み合わせ抽
選。本県代表、長崎商業高の初戦
は大会第3日、8月9日の第2試

合に決まった。長崎原爆の日だ▲現在地に
移転するまで長崎商があったのは爆心地か
ら西北に1・1^キの長崎市油木町。今は県
立総合体育館が立っている。前身の市立商
業学校は、3階建ての校舎を骨組みだけ残
して焼かれ、敷地内の疎開工場も壊滅。当
時の生徒174人が動員先などで亡くなっ
た▲試合開始は午前10時半の予定で、原爆
投下時刻の11時2分はゲームの最中の可能
性が高い。ひた向きにボールを追うナイン
の姿は、71年前のあの日のあの時刻と、平
和の尊さを、きっと全国に印象づけてくれ
る。素晴らしくじを引き当てた▲相手の
山梨学院高は記事で紹介した通り、本県の
清峰高を2009年の春のセンバツで優勝
に導いた吉田洸二さんが監督。(再会が楽
しみ)と書いたら、最高の舞台が早々と実
現した▲この日、リオ五輪では諫早市出身
の世界王者、内村航平選手が出場する体操
男子団体の決勝が行われる。うわ、甲子園
も同じ日かー組み合わせが決まった瞬間、
社内の編集フロアに悲鳴に似たどよめきが
起きた。地元紙の腕の見せどころだ。(智)

全国高校野球組み合わせ抽選会

長崎商 初戦は山梨学院

第98回全国高校野球選手権大会の組み合わせ抽選会は4日、大阪市のフェスティバルホールで行われ、本県代表の長崎商は第3日第2試合(9日午前10時半)で山梨学院と対戦することが決まった。15日間にわたる大会は7日に甲子園球場で開幕する。

山梨学院は、県大会のチーム打率3割9分、3試合で初出場の高川学園(山口)と、3度目の全国制覇を目指す横濱(神奈川)は第3日第3試合で22度目出場の東北(宮城)と顔を合わせる。

今春の選抜大会を制した智弁学園(奈良)は開幕日の第2試合で春夏通じて初出場の出雲(島根)と対戦。大会屈指の左腕、寺島を擁する履正社(大阪)は第2日第



9日(第3日)第2試合で登場

門(徳島)が対戦。選抜4強の秀岳館(熊本)は2回戦から登場し、第6日に常葉学園菊川(静岡)と、同8強の木更津総合(千葉)は第7日に唐津商(佐賀)とぶつかる。開会式の選手宣誓は市尼崎(兵庫)の前田主将が務める。



抽選会で気合が入る長崎商ナイン

大阪府北区

ひと言

◆長崎商・平野太陽内野手(3年) 打撃が強いチームを自分たちらしい守りで抑えたい。9日の試合ということで特別な思いがある。感動、勇気を届けられたらと思う。

◆長崎商・本田一政投手(3年) 49校で最高打率と聞いている。自分の力を試せるので楽しい。清峰時代の吉田監督の印象は試合巧者。ペーを乱されず、自分たちを奪いたい。

◆長崎商・田中虎次郎外野手(3年) 長崎大会のように粘り強さを出す。打撃は好調が続いている。相手投手がどうかわからない。自分のポイントでしっかり打って得点を奪いたい。

「守り勝つ」闘志燃やす

〇…本県代表で29年ぶり7度目の出場となる長崎商の相手は、かつて清峰を全国区にした吉田監督が率いる強力打線の山梨学院に決まった。西口監督は「これも何かの縁だなと感じる」とほほ笑んだが、「序盤の失点を最小限に抑えられるかがカギ」と一戦必勝に向けて表情を引き締めた。

くじを引いた主将の小出は「打撃がいいとは聞いているが詳しくは分からない。長崎大会同様、先取点を取ってしっかり守り勝ちたい」と闘志を燃やした。

吉田監督は「佐世保商

の主将だった29年前の夏、長崎商に敗れて甲子園の夢を断たれた。指導者として甲子園を目指したのはあの試合から。長崎のお世話になった方々にいい試合を見せたい」と笑顔で語った。

試合開始予定時間は9時

長崎商

日午前10時半(第3日第2試合)。昨年の創成館に続き、県勢として2年連続で長崎原爆の日に出場を迎える。西口監督は「平和だからこそ野球ができる。感謝の思いも胸に戦いたい」と話した。(山口栄治)

長崎商初戦は山梨学院

第3日 第2試合



第98回全国高校野球選手権大会(7日開幕)の組み合わせ抽選会で4日、長崎商は大会第3日の第2試合で、山梨学院(山梨)と対戦することが決まった。日程変更がなければ、試合があるのは「長崎原爆の



山梨学院の滝沢虎太郎主将(左)と長崎商の小出主将(4日、大阪市北区で)

日」の9日。長崎商の小出凌太郎主将は「長崎にとって大切な日。その日に試合ができてうれしい」と感慨深そう。西口博之監督は「山梨大会で5割近い打率を残しているチーム。走者を背負っても冷静にプレーさせ、大量失点を防ぎたい」と話した。

山梨学院の滝沢虎太郎主

将は「長崎大会の映像を見て研究を進め、自分たちのつなぐ打撃をしたい」と意気込み、長崎県生まれの吉田洸二監督は、故郷の代表との対戦に「夢を見てるようだ」と喜んだ。

長崎商「守り抜く」

7日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会の組み合わせ抽選会が4日、大阪市内であり、29年ぶりに県代表となった長崎商は大会3日目(9日)の第2試合で山梨学院(山梨)との対戦が決まった。長崎商の西口博之監督は「強打線という印象なので、ビッグイニングを与えないよ

甲子園 9日に初戦 山梨学院戦に闘志

う冷静に守りたい。長崎原爆の日に初戦が決まり、巡り合わせを感じる」と話した。小出凌太郎主将(3年)は「相手は有名校だが先制点を奪い、守り抜きたい」と意気込んだ。

5年ぶり6回目の出場となる山梨学院は、地方大会5試合でチーム打率4割9分の強力打線が武器。吉田洸二監督は佐世保市出身で、2013年まで佐世保商や清峰などの監督を務め、09年の春の選抜大会で清峰を県勢初の優勝に導いた。



ガッツポーズで健闘を誓う長崎商ナイン (撮影・軸丸雅訓)

第98回全国高校野球選手権大会の組み合わせ抽選会が4日、大阪市のフェスティバルホールであり、長崎代表の長崎商は大会第3日の第2試合で、山梨代表の山梨学院と対戦することが決まった。大会日程が順調に進めば、9日午前10時半から始まる。

抽選会の前にあった予備抽選会で、長崎商の小出凌太郎主将(3年)は32番目にくじを引くことが決まった。徐々にステージ上に掲げられた対戦やぐらのチーム名が埋まる中、小出君はくじを右手でとり出し「長崎商業、9のB」と堂々と読み上げた。

小出君は抽選会の前から、チームを調整するのにちょうど良いという大会3〜4日目を目指していた。更に9日は71年前、長崎市に原爆が落とされた日。「引きたかった日にちになり、やった、という感じ。9日という大切な日に、長

第3日 第2試合



全国高校野球
選手権大会

主催/朝日新聞社・日本高野連
後援/毎日新聞社 特別協力/阪神甲子園球場

対戦が決まり握手する長崎商の小出凌太郎主将(右)と山梨学院の滝沢虎太郎主将(左)大阪府北区、金居達朗撮影



崎に良いアピールをした。山梨学院の吉田洸二監督は13年春まで清峰の監督を務めており、長崎商とは長崎大会でも対戦したことがある。西口博之監督は「後

初戦は山梨学院と

監督は元清峰 ■ 2年連続8月9日

長崎商、気合新たに

守り勝ちたい

運命を感じる

長崎商・西口博之監督
清峰で監督をしていた吉田さんと甲子園で戦うことに、すぐ縁を感じた。強力打線のチームなので、ビッグイニングを与えないよう、最少失点に抑えながら守り勝ちたい。相手の胸を借りる気持ちでチャレンジしたい。

先に点を取る

打撃見せたい

長崎商・小出凌太郎主将
有名な高校と試合ができるので、思いっきりやりたい。長崎大会でも打のチームに守り勝って優勝したが、相手はさらに打線に力がある。先に点を取り、逆転されないよう粘り強く頑張りたい。バッテリーを中心に攻めの守りをしたい。

山梨学院・滝沢虎太郎主将
対戦相手が決まって実感がわいてきた。いよいよという感じ。吉田監督の地元が長崎なので、いいところを見せたい。長崎商は守りの強いチームと聞いている。山梨大会のような打撃を見せられるようしっかり準備をしたい。

4日の第98回全国高校野球選手権大会
主編/朝日新聞社・日本高校野球連盟
後援/毎日新聞社 特別協力/阪神甲子園球場



長崎商、原爆の日に 秀岳館は常葉菊川と

球選手権大会の組み合わせ抽選会で、初戦の対戦相手が決まった。初出場の高川学園(山口)は優勝候補の呼び声が高い履正社(大阪)に挑む。選抜4強の秀

岳館(熊本)は強豪の常葉菊川(静岡)とぶつかる。高川学園の相田聖人主将がくじを引いたとき、相手校はまだ決まっていなかった。待っている履正社が当たった。大会注目の左腕、寺島成輝投手を擁する強豪だけに、どよめいた。相田主将は「いいチームとやらせてもらえる。自分た

ちの持ち味の機動力が生かせれば勝てる」と語った。秀岳館の九鬼隆平主将は49番目にくじを引いた。残っている相手は常葉菊川だけ。会場はさわついていたが、九鬼主将は「相手はどこでも、自分たちの野球をするだけ」。鍛冶舎巧監督は「先のことを語った監督は負ける。一戦一戦に全力を尽くす」と話した。

初出場の嘉手納(沖縄)は、3年前に初出場で初優勝した前橋育英(群馬)と対戦する。エースの仲地玖礼投手は「相手は有名で強い。できることをやって全力で戦いたい」。29年ぶりの出場の高崎商は、昨夏の創成館と同じく、長崎に原爆が投下された9日に試合をすることに決めた。エースの本田一政投手は「長崎にとって大切な日。思いを込めてしっかりと投げたい」と話した。鹿児島大会決勝での引き分け再試合が話題となった樟南は京都翔英と対戦する。樟南の前川大成主将は「(決勝を戦った)鹿児島実も打つチームで、今度も相手は打つチームと聞いている。守り勝つ野球をした」と話した。

第98回 全国高校野球選手権大会 初戦組み合わせ決定

開会式7日9時 1試合ごとに次戦抽選

【1回戦】

第1日	10時30分	佐久長聖(長野)⑦-鳴門(徳島)⑪
	13時	出雲(島根)⑩-智弁学園(奈良)⑬
	15時30分	九州国際大付(福岡)⑦-盛岡大付(岩手)⑨
第2日	8時	いなべ総合(三重)②-鶴岡東(山形)⑤
	10時30分	中京(岐阜)⑥-大分(大分)②
	13時	高川学園(山口)⑩-履正社(大阪)③
第3日	15時30分	東邦(愛知)⑪-北陸(福井)③
	8時	市尼崎(兵庫)②-八戸学院光星(青森)⑧
	10時30分	山梨学院(山梨)⑥-長崎商(長崎)⑦
第4日	13時	東北(宮城)⑫-横浜(神奈川)⑬
	15時30分	近江(滋賀)⑫-常総学院(茨城)⑬
第5日	8時	関東一(東京)⑦-広島新庄(広島)②
	10時30分	京都翔英(京都)⑩-樟南(鹿児島)⑬
	13時	星稜(石川)⑬-市和歌山(和歌山)⑤
第6日	15時30分	花咲徳栄(埼玉)④-大曲工(秋田)⑩
	9時30分	八王子(西東京)⑩-日南学園(宮崎)⑧
	12時	富山第一(富山)②-中越(新潟)⑩
第7日	14時30分	嘉手納(沖縄)⑩-前橋育英(群馬)②
	8時	聖光学院(福島)⑬-クラーク国際(北海道)⑩
	10時30分	松山聖陵(愛媛)⑩-北海(北海道)⑧
第8日	13時	尽誠学園(香川)⑪-作新学院(栃木)⑫
	15時30分	秀岳館(熊本)②-常葉菊川(静岡)⑤
第9日	8時	木更津総合(千葉)⑤-唐津商(佐賀)⑤
	10時30分	明德義塾(高知)⑬-境(鳥取)⑧
	13時	創志学園(岡山)⑩-未定

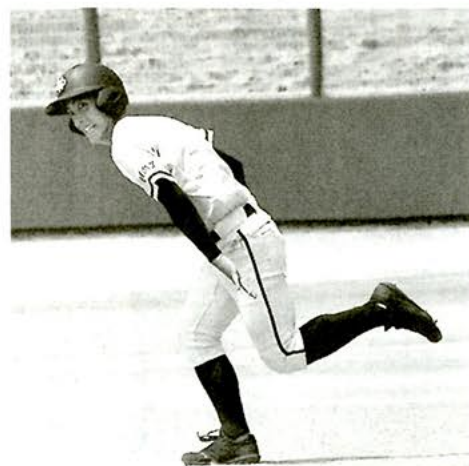
※左が一塁側。丸数字は出場回数。⑩は初出場

阪神甲子園球場(兵庫県西宮市)
主催 朝日新聞社・日本高校野球連盟
後援 毎日新聞社 特別協力 阪神甲子園球場

▼20・21面＝歓喜の瞬間特集、25・38面＝詳報

自転車に乗らなくて俊足に?

代走の切り札、元村選手



全力で走塁する元村葉大君＝大阪市

長崎商の選手たちは5日、大阪市内の球場で試合形式の練習をした。チーム一の俊足、元村葉大君(2年)は代走の切り札。本番でも本塁を踏めるよう、走塁練習に汗を流した。

2チームに分かれた実戦形式の練習。一塁コーチをして元村君は監督からの指示で一塁走者の代走に入った。すぐに二塁を自指して勢よく飛び出した。50秒6・0秒の俊足。元村君によると、足が速くなった理由は、小学校低学年の頃にあるのだとか……。坂の多い長崎市内では自転車はあまり使われず、自転車に乗れない選手もいる。元村君も自転車に乗らずに市内で育ったが小学校



入学と同時に佐賀県に引っ越し、約1年半過ごした。そこで自転車に乗る友だちを走って追いかけたことで「足が速くなったのでは」と元村君は考えている。西口博之監督から足の速さと積極性を買われ、メンバー入り。春からは走塁の練習に力を入れてきた。「常に次の塁を狙っている」と元村君。甲子園でも本塁を踏もうと意気込む。(田部愛)

長崎商 29年ぶり 憧れの舞台へ



29年ぶりの甲子園切符をつかんだ選手たち。「一戦必勝」を誓い、士気を高める —長崎市、長崎商高グラウンド (田中英樹撮影)

第98回全国高校野球選手権大会は7日、兵庫県西宮市の甲子園球場に49校が参加して開幕する。29年ぶり7度目の出場となる本県代表の長崎商は1回戦から登場。第3日の第2試合(9日10時30分)で山梨学院と対戦する。憧れの舞台に立つ選手たちの横顔を紹介する。

(山口栄治)

今季は昨秋の県大会で2回戦敗退したが、春の県大会で4強入りすると、6月のNHK杯で優勝。準々決勝で選抜8強の海星に5-4で競り勝ち、準決勝、決勝も1点差の試合をものにしました。第2シードで迎えた夏の長崎大会も勝負強さを発揮。準決勝、決勝はいずれも先制し、再三のピンチ

をしのいで2試合とも1点差で逃げ切った。

■攻めの投球

守りからリズムをつくるチームの柱は、長崎大会全5試合45イニングを一人で投げ抜いたエース本田と、主将小出のバッテリー。本田は低めに制球された伸びのある最速138km/hの直球のほか、右打者のインコースを突くシュート、切れ味のいいスライダーなどを操る。5試合で559球を投げたが、決勝の九回でも球威は衰えなかった。

45イニングで四死球は9個。インコースを突く攻めの投球が持ち味のため、死球は6あったが、四球はわずか3だった。

被安打は全5試合で計44。防御率は1.00。自

身が「走者を背負った、一層集中力が高まる」と言うように、ピンチでも動かない投球こそ真骨頂だ。

■手堅く得点

長崎大会5試合のチーム打率は2割2分5厘と決して高くないが、そのない攻撃で計20点を奪った。走者が出れば手堅く送り、19犠打を成功させた。選球眼がよく、四球で得た好機を得点につなげる場面も目立った。

西口監督がチーム分析で投手力と同じ「7」を付けてるのが守備。初戦こそ3失策だったが、試合を重ねるごとに安定感を増し、3回戦以降は4試合で1失策。決勝は内外野の好守で何度もピンチをしのいだ。平野、森海の二遊間、NHK杯の直後から正三塁手となった吉田は捕球、送球ともに安定感がある。中堅田中、左翼井上はともに守備範囲が

甲子園への道のり

▽2回戦	6-2	南工	保見
▽3回戦	6-0	佐世	佐峰
▽準決勝	4-1	佐波	村工
▽決勝	6-3	清大	
	1-0		



中軸として復調に期待がかかる平野

県営ビッグNスタジアム (田中英樹撮影)



力強い打撃でチームを引っ張る主将の小出

県営ビッグNスタジアム (田中英樹撮影)

長崎商 29年ぶり 憧れの舞台へ

バッテリ―柱に守り勝つ



長崎大会の決勝戦で力投するエース本田
→長崎市、県営ビッグNスタジアム(則行優志撮影)

【個人打撃成績】(長崎大会) =◎は主将=

背番号	氏名	学年	投打	出身中	打	安	点	打率
1	本田 一政	3	右左	戸町	16	4	0	0.250
◎2	小出凌太郎	3	右右	片淵	17	6	2	0.353
3	辻 義大	3	右右	岩屋	13	2	1	0.154
4	平野 太陽	3	右左	深堀	17	2	1	0.118
5	吉田 敏貴	3	右左	大瀬戸	14	3	2	0.214
6	森 海稀	3	右右	小浜	17	3	2	0.176
7	井上 弘太	3	右右	鳴北	13	2	1	0.154
8	田中虎次郎	3	右左	海星	15	5	6	0.333
9	澤山 礼宏	2	右右	西彼	13	3	0	0.231
10	吉村心之介	3	右右	西浦上	0	0	0	0.000
11	熊谷 航	3	左左	小島	0	0	0	0.000
12	森 善久	3	右左	福江	2	0	0	0.000
13	池田 陸生	3	左左	横尾	4	2	2	0.500
14	元村 菜大	2	右左	戸町	0	0	0	0.000
15	小畑 祐人	2	右右	勝本	0	0	0	0.000
16	森口 敦史	2	右右	東長崎	0	0	0	0.000
17	大山 雄汰	3	右右	淵	0	0	0	0.000
18	池田 碧	3	右左	丸尾	1	0	0	0.000

長崎大会のチーム打率 2割2分5厘

【個人投手成績】(長崎大会)

氏名	試合数	回	打	安	振	球	責	防御率
本田 一政	5	45	181	44	33	9	5	1.00

長崎大会のチーム防御率 1.00

いざ甲子園!

第98回全国高等学校野球選手権大会

ご声援・ご支援よろしく申し上げます。



九州最古の商業高校



長崎
市立

長崎商業

高等
学校

長崎野球部甲子園出場後援会
同 窓 会 会 長 出口 喜博
校 長 松尾 正臣
P T A 会 長 甲野 久之
野球部保護者会会長 森 亮輔
野球部OB会会長 濱里

〒852-8157 長崎市泉町 1125
Tel : 095-887-1511 (学校) 095-883-1916 (同窓会)
Fax : 095-887-1526 (学校) 095-883-2229 (同窓会)
ホームページ 長崎商業 検索

長崎商 29年ぶり 憧れの舞台へ

祝 甲子園出場! 長崎市立長崎商業高等学校



吉田 敏貴

6月のNHK杯準決勝でサヨナラ打を放ち、スタメンに定着。長崎大会では主に2番。「出塁して得点機を演出したい」。175センチ、74キロ。



平野 太陽

守備は一步目の速さ、打撃は選球眼とミート力に定評。「甲子園では考えすぎず伸び伸びと打つ。全員で校歌を歌いたい」。165センチ、63キロ。



辻 義和

祖父から3代続けて長崎野球部。長打力のある好打者。「長崎大会では本来の打撃ができなかったが、甲子園では打つ」。174センチ、80キロ。



小出 凌太郎

捕手で4番の頼れる主将。好リードでエース本田の特長を引き出す。打撃も好調。「甲子園でも粘り強く戦う」。171センチ、73キロ。



本田 一政

伸びのある速球とシュート、スライダーなど切れのある変化球で打たせて取る。「憧れの甲子園で自分の投球をする」。165センチ、67キロ。



吉村 心之介

140キロを超える速球が武器の本格派右腕。長崎大会は登板機会がなかったが、「心の準備はいつでもできている」。178センチ、77キロ。



澤山 礼宏

打撃センスがある2年生で唯一のスタメン。自分のポイントでしっかり打ちたい。先頭打者として1球目から狙う。170センチ、70キロ。



田中 虎次郎

長崎大会ではチームトップの6打点。守備範囲も広い。「結果を気にせず、初球から思い切ったバットイングをする」。176センチ、78キロ。



井上 弘太

長崎大会は2安打ながら、決勝で価値ある1点をたたき出した。持つてくる男。俊足で「守備範囲には自信がある」。162センチ、67キロ。



森 海稀

攻める守備が持ち味。バントなど小技も得意。「一戦一戦集中する。普段通りのプレーで投手陣を助けた」。166センチ、67キロ。



小畑 祐人

甲子園に憧れ、離島から進学。「粘り強く、相手投手の嫌がる打撃をしたい。シートノックから声を出して盛り上げる」。164センチ、64キロ。



元村 葉大

チーム一の俊足で代走の切り札。長崎大会で出場機会はなかったが、「1点を追う場面で盗塁を決め、得点に絡みたい」。167センチ、68キロ。



池田 陸生

左の代打。公式戦初先発だった準々決勝は2安打2打点の活躍。「打撃を磨いてきた。声を出してチームを盛り上げた」。181センチ、82キロ。



森 善久

長打が期待できる左の好打者。出場機会は限られるが、「チャンスで使ってもらえるので、チームの期待に応えたい」。180センチ、87キロ。



熊谷 航

長身の本格派左腕。決め球はスライダー。「NHK杯からずっと調子はいい。出番があれば、躍動感のある投球をしたい」。181センチ、81キロ。



池田 碧

外野ならどこでも守れる。長崎大会決勝は負傷の澤山に代わって出場。「甲子園でもいつても出られるように準備する」。171センチ、71キロ。



大山 雄汰

長打力があり、強肩。「しっかり声を出してチームを盛り上げたい。力強いスイングで思い切りのいい打撃をする」。177センチ、78キロ。



森口 敦史

安定した守備。内野ならどこでもこなす。NHK杯決勝では勝負を決める適時打。「絶対に悔いの残らないプレーをする」。171センチ、70キロ。

選手紹介

29年ぶり7度目の甲子園出場おめでとうございます。

(場外見)

長崎商 29年ぶり 憧れの舞台へ

祝 甲子園出場! 長崎市立長崎商業高等学校

激闘の長崎大会を制し、29年ぶりに甲子園の土を踏む長崎商。開幕を直前に控えたチームの状態、目標などを西口博之監督に聞いた。

―チームのコンディションは。

甲子園にはベストメンバーで臨めようと思う。エースの本田はもともスタミナのある投手。さすがに長崎大会の後には疲れていたが、決勝から5日くらいでは回復したようだ。決勝で守備中に足を捻挫した澤山も7月末からランニングを再開できており、開幕

初戦に全力尽くす



インタビュー

西口 博之監督

―甲子園ではどんな戦い方をを目指すのか。

練習でやっていないことはできない。つまり長崎大会と同じように守りからリズムをつくり、少ないチャン



―目標は。

まずは初戦。今年のチームスローガンは「奪」。先のことは考えず、一丸になって全力で1勝を奪いに行きたい。そこからは勢いに乗って一つでも多く勝ちたい。

スを生かして得点するスタイルを貫く。ただ、打撃の面では力を出し切れていない選手もいた。復調できれば得点力はずっと上がる。しっかりと調整したい。夢の舞台に立てる喜びを感じながら、伸び伸びとプレーしてほしい。

にしぐち・ひろゆき 長崎商高、西南学院大卒業後、壱岐商高野球部監督を1984年から7年間務める。91年、長崎商高に赴任。野球部部長を経て、97年8月に監督に就任。西南学院大時代は投手、一塁手として活躍。主将を務め九州六大学野球準優勝に貢献した。商業科教諭。長崎市出身。55歳。

学校沿革

1885(明治18)年に公立長崎商業学校として創立した九州最古の商業高校。1948年、長崎市立長崎商業高校となる。86年に油木町から現在の泉町に新築移転した。全員が情報国際ビジネス科に入学。2年から流通会計情報、国際の各ビジネス分野に進学コースを選択する。

校訓は「誠実 明朗 進取」。卒業生に長崎学の確立者で「長崎ぶらぶら節」でも有名な古賀十二郎、長崎市長として平和行政に尽力した諸谷義武、甲子園出場後、本県初のプロ野球選手として巨人で活躍した内堀保(いすもり たけし)漫画家でタレントの蛭子能収(こねう)氏がいる。生徒数は794(女子676)人。野球部は20(大正9)年創部。現部員数は83人。甲子園は今回で通算9度目(夏7度、春2度)の出場で、52年の夏は準々決勝で日大三(東京)を破り、4強入りした古豪。

陸上、ソフトボール、ソフトテニス、バスケットボール、柔道なども盛ん。



◆井川 太部長 長崎南山高、福岡大卒。平戸高、佐世保商高などを経て2015年、長崎商高に赴任し野球部長。商業科教諭。学生時代は内野手。長崎市出身。45歳。

- ◆第11回大会 (1925年)
 - ▽2回戦 3-1 市岡中 (大阪)
 - ▽準々決勝 2-3 大連商 (満州)
- ◆第12回大会 (1926年)
 - ▽1回戦 2-4 鳥取一中
- ◆第34回大会 (1952年)
 - ▽2回戦 2-0 敦賀 (福井)
 - ▽準々決勝 1-0 日大 (東京)
 - ▽準決勝 0-1 八尾 (大阪)
- ◆第36回大会 (1954年)
 - ▽1回戦 1-6 千葉商
- ◆第51回大会 (1969年)
 - ▽2回戦 1-2 若狭 (福井)
- ◆第69回大会 (1987年)
 - ▽2回戦 4-5 高岡商 (富山)

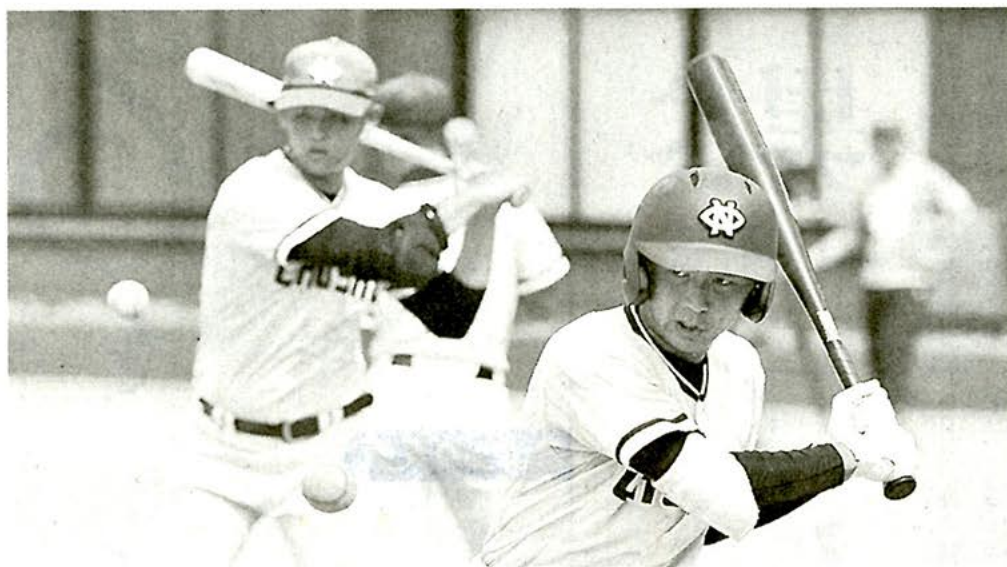
29年ぶり7度目の甲子園出場おめでとうございます。

(順不同)

長崎商

紅白戦で実戦練習

本田投手「冷静に投げたい」



打撃練習に励む長崎商
ナイン

第98回全国高校野球選手権大会で3日目(9日)に山梨学院(山梨)と対戦する県代表の長崎商ナインは5日、大阪市の南港中央野球場で練習し、初戦に向けて調整した。

この日はシート打撃や紅白戦を行い、エースの本田一政投手(3年)は紅白戦で3回を投げた。主将の小出凌太郎捕手(3年)は「本田の球の切れが良くなってきた。あとはチーム全員の実戦感覚をしっかりと取り戻していきたい」と気を引き締めた。

対戦相手の山梨学院は強力打線が特徴。本田投手は「相手は大会トップクラスの打線。胸を借りるつもりで、おじけづかず、冷静に投げたい」。西口博之監督は「けがもなく、全体的に調子が良い。試合は序盤に相手打線をどう抑えるかが鍵になる」と話した。

(清水駿貴)



チームの雰囲気良い

長崎商 池田 碧選手 (3年)

関西の暑さは長崎と少し違って、最初は戸惑いましたが、今は慣れてきました。ご飯もしっかり食べて体力をつけています。大阪のたこ焼きを食べてみたいです。3日に甲子園球場で練習したことで、心が落ち着きました。チームもすごく良い雰囲気です。練習ができてい

甲子園
だより

るので、早く試合がしたいです。宿舎ではみんなとミーティングを重ね、やるべきことを確認したり士気を高めたりしています。一つ一つのプレーを大事にする自分たちの野球で初戦を突破したいです。



開会式のリハーサルで行進する選手たち＝伊藤進之介撮影

第98回全国高校野球選手権大会(朝日新聞社、日本高校野球連盟主催、毎日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力)は7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。開会式は午前9時からで、市尼崎(兵庫)の前田大輝主将が選手宣誓をする。午前10時半からの開幕試合では2年ぶり7回目出場の佐久長聖と5年連続出場の鳴門が対戦。全国3874校の頂点をかけた戦いが始まる。開門は同7時。



きよう開幕

全国高校野球選手権大会
第98回
主催/朝日新聞社・日本高校連盟
後援/毎日新聞社 特別協力/阪神甲子園球場

49代表 主将の決意

(丸数字は試合順)

第1日	①	佐久長聖(長野) 元山	長野代表の名に恥じない戦いをし、甲子園で勝ち抜きたい
	②	鳴門(徳島) 手東	守備からリズムを作り、しっかり打ってチームを勢い上げたい
	③	出雲(鳥根) 吾郷	甲子園で校歌を歌うという目標を果たすためにまず1勝したい
	④	智弁学園(奈良) 岡沢	部員全員が一つになって、春夏連覇を実現させたい
第2日	①	九州国際大付(福岡) 永岡	長打力に足を絡めた攻撃力で、全国制覇を目指したい
	②	盛岡大付(岩手) 石橋	打ち勝つ野球が持ち味。挑戦者の気持ちで向かっていく
	③	いなべ総合(三重) 上中	持ち味の攻撃力と機動力を生かし、全力でぶつかるのみ
	④	鶴岡東(山形) 佐藤	全員野球を大切に、一戦一戦粘り強く戦っていききたい
第3日	①	中京(岐阜) 平	最少失点に抑えて守備からリズムを作る。強打で打ち勝ちたい
	②	大分(大分) 木田	自分たちの強気のプレーです。まずは1勝し、校歌を歌いたい
	③	高川学園(山口) 相田	チャンスがあれば勝てる自信がある。いつも通りやりたい
	④	履正社(大阪) 四川	甲子園は憧れの舞台。日本一を目指して、一戦一戦全力で戦う
第4日	①	東邦(愛知) 藤嶋	みんなで明るく楽しく元気に、最後まであきらめずに戦う
	②	北陸(福井) 三ツ井	相手にひるむことなく、自分らの野球をして勝ち上がりたい
	③	市尼崎(兵庫) 前田	「不撓(ふとう)不屈」の精神で、機動力と守備力を生かして勝ちたい
	④	八戸学院光星(青森) 奥村	先を見ず、一つひとつの試合を全員野球で戦いたい
第5日	①	山梨学院(山梨) 滝沢	全国の強いチームと戦うのが楽しみ。いい打撃を見せたい
	②	長崎商(長崎) 小出	応援してくれる色んな方に、全力プレーで恩返ししたい
	③	東北(宮城) 児玉	強い東北が甲子園に戻ってきたと思ってもらえるプレーをする
	④	横濱(神奈川) 公家	重圧がかかると思うが、自分に打ち勝つ。おごらずにやる
第6日	①	近江(滋賀) 唐沢	投手を中心に3点以下に抑えてリズムをつくり、勝ちたい
	②	常総学院(茨城) 中村	春の借りを返すに帰ってきた。一戦必勝で勝ち上がります
	③	関東一(東京都) 村瀬	個人の力を全員でカバーして、自分たちらしい野球をしたい
	④	広島新庄(広島) 恩地	守備でミスをせず、自分たちの野球を徹底する
第7日	①	京都翔英(京都) 石原	自分たちの持ち味であるバッティングを甲子園で見せたい
	②	樟南(鹿児島) 前川	伝統の守り勝つ野球で、頂点を目指して頑張りたい
	③	星稜(石川) 虎谷	目標は日本一。どんな状況でも堂々と自分たちの野球をする
	④	市和歌山(和歌山) 河崎	春の選抜大会の悔しさをバネに成長した。絶対校歌を歌う
第8日	①	花咲徳栄(埼玉) 岡崎	自分たちらしい攻撃と守備をする。優勝して泣きたい
	②	大曲工(秋田) 高橋	やってきたことがどこまで通じるか。粘り強く戦いたい
	③	八王子(東京都) 川越	相手が強豪であるほど燃える。1回でも多く校歌を歌いたい
	④	日南学園(宮崎) 森山	粘り強さには自信がある。春のリベンジを果たしたい
第9日	①	富山第一(富山) 宝達	目の前の試合に集中して一戦必勝で臨み、勝ち続けたい
	②	中越(新潟) 広川	新潟大会と同じように、相手をよく見て隙を突くプレーをする
	③	嘉手納(沖縄) 大石	楽しみも緊張もある。リズム良く自分たちのプレーをしたい
	④	前橋育英(群馬) 小川	自分たちの守備を全国の場で見せて優勝したい
第10日	①	聖光学院(福島) 松本	苦しい戦いになると思うが、全力でやっていきたい
	②	クラーク国際(北海道) 阿部	ふたんど通りの野球を甲子園で見せたい
	③	松山聖陵(愛媛) 稲葉	甲子園でプレーできる喜びを感じ、全員野球で戦いたい
	④	北海(北海道) 大西	まず1勝。守りからリズムを作る「北海野球」を貫いていく
第11日	①	尽誠学園(香川) 渡辺	最後まで攻めの姿勢を忘れずに戦い抜きたい
	②	作新学院(栃木) 山本	守備と走塁からリズムをつくる野球で1戦ずつ勝ち抜きたい
	③	秀岳館(熊本) 九鬼	必死のプレーで熊本に元氣と笑顔を届けたい。優勝を目指す
	④	常葉館(静岡) 赤井	フルスイングで、どんな投手も打ち崩していきたい
第12日	①	木更津総合(千葉) 小池	選抜での悔しさを胸に練習してきた。優勝を目指す
	②	唐津商(佐賀) 井上	チャレンジャーの気持ちで、まず1勝を目指したい
	③	明徳義塾(高知) 高村	守備からリズムをつくる守り勝つ野球で勝ち進みたい
	④	境(鳥取) 浜	攻撃が売りなので、最後の夏に鍛えてきた打撃力を出して勝ちたい
第13日	①	創志学園(岡山) 野川	岡山県58校の思いを背負い、責任感を持って日本一を狙う

長崎商・小出主将
「いよいよ」実感

開会式リハーサル



全国高校野球大会に出場する長崎商は6日、甲子園球場で開会式リハーサルに参加した。選手たちは腕を振りながら堂々と行進し、本番に向けて気持ちを高めていた。

リハーサルを終えた小出凌太郎主将は「甲子園球場の雰囲気を全身で感じ、いよいよ始まるという実感が湧いた。7日の開会式では、出場校の中で一番いい行進をしたい」と語った。

大会は7日に開幕し、開会式は午前9時から。長崎商は大会第3日の第2試合で山梨学院(山梨)と対戦する。

「全国一の行進を」

長崎商ナインきょう開会式

甲子園



開会式リハーサルで行進する長崎商ナイン

第98回全国高校野球選手権大会の開会式リハーサルが6日、兵庫県西宮市の甲子園球場であり、県代表の長崎商ナインも全国の代表校とともに入場行進の予行演習をした。

7日の本番と同様に代表校が南から順に入場。長崎商は代表校では6番目に登場し、ナインは掛け声に合わせて息の合った行進を見せた。小出凌太郎主将(3年)は「長崎の代表なので、堂々と歩き、全国で一番の行進をした」と目を輝かせた。

(黒田加那)

緊張を楽しんでいる

大山 雄汰選手(3年)



甲子園球場はずっと来たいと思っていた場所なので、出場決定後はとてもワクワクしていました。今は思い切り野球がやれるなという気持ちでいっぱいです。チームのみんなはとも仲が良く、この場所で一緒に過ごせることが本当にうれしいです。現地にきてからは少し緊張していますが、その緊張を逆に楽しめています。初戦の相手は打線が強力ですが、自分たちは守りのチームなので長崎商らしい野球をすれば勝てると思っています。地元の人たちに感動を与えるプレーを見せたいです。



「球児の夏」きょう開幕

第98回全国高校野球選手権大会は7日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕し、地方大会を勝ち上がった49代表校による15日間(準々決勝翌日の休養日を含む)の熱戦がスタートする。開会式は午前9時に開始予定。

開会式リハーサル

第98回全国高校野球選手権大会は開幕を翌日に控えた6日、甲子園球場で開会式リハーサルが行われ、照りつける強い日差しの中、49代表校の選手らが入場行進の練習などを行った。

行進は熊本地震で被災した東稜(熊本)の山門憲司主将が先導役を務めた。神奈川大会で敗退した昨年優勝の東海大相模を先頭に、嘉手納(沖縄)からクラーク(北海道)まで代表校が南から北の順に約900人が歩調を確かめるように歩いた。

33年ぶりに出場する市尼崎(兵庫)の前田大輝主将が選手宣誓の練習を行った。



開会式リハーサルで、一斉行進する各校の選手ら

＝甲子園球場

3代そろって長商野球部 3年の辻 特別な思い



祖父や父を思いながら甲子園の土を踏みしめる辻(中央)

祖父と同じ甲子園立つ



○リハーサルで息の合った行進を披露した本県代表、長崎商の18人。中でも3年生の辻は特別な思いで

甲子園の土を踏みしめた。祖父義雄さんは長崎商の選手として1954年の第36回大会に出場。父勝義さんも同校野球部OBで、97年には監督として母校を長崎大会の決勝まで導いた。6日のリハーサルは少し緊張した様子だったが、「父が夢見て、そして62年前におじいちゃんがプレーした場所。そう思うとワクワクした」とにっこり。

長崎大会では打撃が不調で、義雄さんからは「甲子園ではしっかり自分のスイングをしなさい」と助言された。西口監督が「得点力アップのためには復調が欠かせない」と評する好打者は「せっかくなので来た。得点に絡む打撃で勝利に貢献したい」と力強く語った。(山口栄治)

長崎商ナイン 堂々の行進

開 会 式

第98回全国高校野球選手権大会の開会式が7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場であった。約4万3000人の大観衆が注目する中、県代表の長崎商の選手らは胸を張って堂々とした行進を見せた。代表の49校が南から



順に入場。長崎商の名前がアナウンスされると、球場から拍手が湧いた。選手らは、長崎大会の優勝旗を持った小出凌太郎主将(3年)を先頭に、全員で声を出して整った動きを見せた。式後、小出主将は「大勢の観客の中で野球ができるのはうれしい」と話し、吉田敏貴選手(3年)も「やっと始まった感じ。緊張よりワクワクが大きい」と胸を膨らませていた。【真栄平研】



堂々と入場行進する長崎商の選手たち

握手を交わす長崎商の西口監督(左)と山梨学院の吉田監督



あす対戦 両監督に聞く

長崎商は大会第3日第2試合(9日午前10時半開始予定)で、山梨学院の山梨学院との1回戦に臨む。対戦を前に長崎商の西口博之監督と山梨学院の吉田洸二監督に意気込みなどを聞いた。

【加古ななみ】

—相手の印象は。

—理想の試合展開

西口監督 打ち出しは。

西口監督 本田一政投手(3年)、小出凌太郎捕手(3年)のバ

初戦に向けての意気込みは。

西口監督 山梨学院の強力打線を相手に、左のピッチャーがうまく継続するこり強く守っていきたくて。吉田監督 栗尾勇、宮内大河、吉田壘の2年生投手陣だ。経験は浅いが、いいピッチャーが揃っている。試合開始前か

西口監督 20年ぶりの思いを込めて、力強く戦いたい。また、長崎県民にとって忘れてはならない8月9日に試合ができることに感

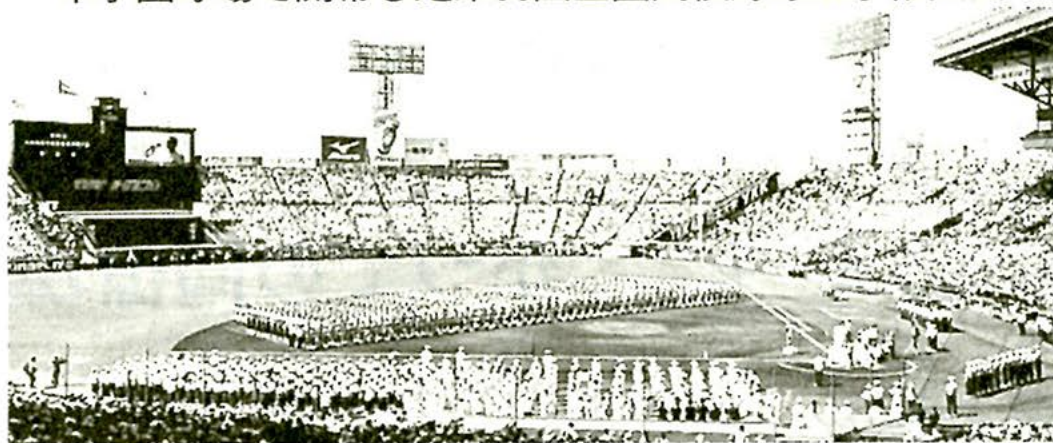
山梨学院 培ったもの出し切る

長崎商 失点抑え粘りの守備

まっている。長崎大会では失点を最小限に抑えており、堅い守りをどう切り崩すがポイントとなる。自分のチームで鍵となる選手は。吉田監督 精神的にも身体的にも調子は上がってきている。攻守ともに身体のキレが出てきている。

吉田監督 今まで選手たちとともに培ってきたものをすべて出し切る。9イニングを選手と心を一つにして臨みたい。

甲子園球場で開幕した第98回全国高校野球選手権大会



第98回

全国高校野球
選手権大会

第1日

夏
開
幕

新たな1世紀へ

第98回全国高校野球選手権大会は7日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕した。照り付ける太陽の下、地方大会を勝ち抜いた49代表校が参加して開会式が行われた。昨年、創設から100年を迎えた大会は、新たな1世紀に入ることになった。入場行進では、嘉手納(沖縄)からクラーク(北北海道)まで南から北の順に元気よく歩いた。

33年ぶり出場の市尼崎(兵庫)の前田大輝主将が「これからの100年も高校野球が愛される存在であり続けるよう、甲子園で一生懸命プレーすることを誓います」と堂々と選手宣誓すると、4万3千人の大観衆から大きな拍手が送られた。

開会式後の第1試合では、熊本地震で被災した阿蘇中央(熊本)の倉岡真聖主将が始球式を行った。

大会は順調に日程を消化すれば21日に決勝を迎える。

29年ぶり長崎商堂々



○…29年ぶり7度目の出場を果たした本県代表の長崎商は、入場行進で6番目に登場。約4万3千人の大観衆が見守る中、伝統校らしく堂々とグラウンドを踏みしめた。

長崎大会の優勝旗を手にした主将の小出を先頭に18人全員で「1、1、1、2」と声を掛けた。小出は「お客さんの多さに少し驚いたけど、この中でやれると思うとワクワクした」と初戦が楽しみな様子。守備の要、遊撃の森海は「球場のすごい雰囲気、始まったんだな」という実感が湧いた。普段通りのプレーをしつかりやりたい」と表情を引き締めた。

午後からは大阪府東大阪市の花園セントラルスタジアムで練習。気温35度を超える猛暑の中、約2時間シートノックやバッティングに汗を流した。(山口栄治)

開会式で力強く行進する
長崎商の選手 Ⅱ 甲子園

野球できる喜び かみしめて



1952年春の甲子園のメダルと当時使っていたバットを前に「甲子園では野球を思う存分楽しんでほしい」と話す渡部さん
＝長崎市泉町、市立長崎商業高（荒木勝郎撮影）

1952年の4強ナインで被爆者

渡部さんエール

9日の長崎原爆の日をひととき特別な思いで迎える元高校球児がいる。1952年夏の甲子園。西九州代表の長崎市長崎商業高は強豪校を打ち破り、ベスト4に輝いた。当時1番セッターで攻守に活躍した渡部稔さん(81)＝同市諏訪町＝は被爆者。今夏、29年ぶりに甲子園の切符を手にした後輩の初戦は原爆投下時刻の午前11時2分をまたぐ見通しで「野球をできる喜びをかみしめ、全力で戦ってほしい」とエールを送る。



春の甲子園2回戦の日大三高戦でホームランを決める渡部さん
＝1952年4月、甲子園球場（渡部さん提供）

被爆
ナガサキ 71年

45年8月9日、米爆撃機B29の飛行音に気付き見上げた瞬間だった。「ピカッ」と一面真っ白になり、爆風に襲われた。10歳だった渡部さんは爆心地から3・3キロの鳴滝町の自宅裏で被爆。幸いにもけがはなかったが、通っていた伊良林国民学校の校庭では次々と遺体が焼かれた。「言葉で言えないほどの悲惨な光景だった」という。長崎商は原爆投下時、爆心地から1・1キロの油木町にあり、壊滅的被害を受けた。「長商創立七十五周年記念誌」によると、職員9人、生徒百数十人が爆死した。5年後に渡部さんが入学した時、野球ができるグラウンドはあったが、辺り一帯は焼け野原のままだったという。

あす長崎原爆の日 長崎商が甲子園初戦

十人が爆死した。5年後に渡部さんが入学した時、野球ができるグラウンドはあったが、辺り一帯は焼け野原のままだったという。ナインを奮起させる衝撃的な出来事は、51年11月の秋季九州大会準々決勝で起きた。同級生でエースの吉松清満さんが試合中に死球を受け死亡した。チームは試合に勝ったが、準決勝は棄権した。「吉松の分まで戦う」。意気込んで臨んだ翌年春の甲子園は8強入り。打率7割1分4厘を記録した渡部さんは打撃賞(首位打者)と優秀選手賞を受賞し、ベストナインに選ばれた。

夏も県大会と西九州大会を勝ち抜き甲子園へ。強豪の日大三高(東京)などを破り勝ち進んだが、準決勝で八尾高(大阪)に0-1で惜敗した。当時、長崎の街頭ではラジオ放送に人だかりができて、被爆から復興の道を歩み出した市民に勇気を与えた。渡部さんは卒業後ほぼ毎年、県大会の予選会場に足を運び、後輩たちの試合を観戦してきた。今年の甲子園出場が決まった瞬間はバックネット裏で見届け、涙があふれた。くしくも慰霊と後輩の応援の時間が重なることになった。「原爆の投下場所が違っていたら、私も死んでいたかもしれない。生きていたら甲子園を目指していたであろう子どもや吉松選手の思いも背負い、存分に戦ってほしい」。9日は体調不良のため甲子園には行けないが、被爆地長崎から精いっぱい声援を送るつもりだ。(原口司)

試合中に黙とうへ

7日開幕した第98回全国高校野球選手権大会(甲子園)で、長崎原爆の日(9日)に初戦を迎える長崎商の選手らは、試合中に黙とうし、原爆犠牲者を慰霊する。試合は午前10時半開始予定で、

原爆投下時刻の同11時2分はプレー中の可能性が高い。西口博之監督が大会本部に対応を相談したところ「試合は中断できないが、11時2分に近い攻守交代の場面で黙とうをしても構わない」との回答を得たという。

被爆当時、長崎商の校舎は爆心地から約1・1キロの長崎市油木町にあった。同校OBでもある西口監督は「生徒と教員合わせて200人近くが亡くなったと聞いていた。大きな被害を受けた学校として野球ができることへの感謝、喜びも胸にプレッシャー」と語った。(山口栄治)

長崎商が 堂々行進 開会式



甲子園球場で7日開幕した全国高校野球大会の開会式で、29年ぶり7度目出場の長崎商は、満員のスタンドの大きな拍手を受けながら、堂々と行進した。

選手たちは、小出凌太郎主将を先頭に足並みをそろえて入場。小出主将は「甲子園という舞台に立てて率直にうれしい。みんなで息の合った行進ができた」と笑顔で話していた。

長崎商は、第3日の第2試合で山梨学院(山梨)と対戦する。



入場行進する長崎商の選手たち(7日、甲子園球場で)



入場行進する長崎商の選手たち
〓 兵庫県西宮市の阪神甲子園球場、林紗記撮影

長崎商、堂々と行進

長崎商は7日、阪神甲子園球場での開会式に臨み、息のそろった行進を見せた。

18人の選手たちは優勝旗を持った主将の小出凌太郎君(3年)を先頭に6番目に入場。全員でかけ声をかけながら手足の動きをそろえた。小出君はスタンドを見て「観客が多いなあと思った。こんな中で試合が出来るのはわくわくする」。

長崎商は大会第3日の第2試合で山梨学院(山梨)と対戦する。
(田部愛)

長崎商ナイン堂々行進

第98回
全国高校野球
選手権大会



開会式で行進する長崎商ナイン
甲子園球場(撮影・軸丸雅訓)

第98回全国高校野球選手権大会の開会式が7日、兵庫県西宮市の甲子園球場であり、県代表の長崎商ナインは大勢の観衆の中を堂々と行進した。

7月の県予選は雨天で入場行進が取りやめになったが、憧れの甲子園で実現した。ナインは肩の高さまで手を大きく振り、一糸乱れぬ美しい行進を披露。厳しい暑さの中、観衆の手拍子に乗って軽快に歩いた。エースの本田一政投手(3年)は「いよいよ大会が始まったという感じがした。きれいに行進できたと思う。早くあのマウンドで投げたい」と笑顔を見せた。

長崎商は大会3日目(9日)の第2試合で、佐世保市出身の吉田洸二監督率いる山梨学院(山梨)との初戦を迎える。

(黒田加那)

あす、山梨学院と初戦

「粘り強く守り得点」

長崎商
西口監督

「ノリのいい状態に」

山梨学院
吉田監督

長崎商の西口博之監督にとって、かつて佐世保商や清峰を率いた山梨学院の吉田洸二監督とともに県内でのぎを削った間柄。両監督に初戦にける意気込みなどを聞いた。

「理想の試合展開は。西口 大量失点しないこと。粘り強く守って1点ずつ取る自分たちの野球を貫く。」

「相手校の印象は。西口 打ち出したら止まらない強力打線。投打のパランスも取れている。」

吉田 県予選で非常に失

吉田 気分が左右される面があるので、ノリがいい状態に持っていきたい。

「チームのキーマンは。西口 本田、小出のバッテリーを中心としてセンターラインの守りが鍵になる。」

吉田 2年生投手3人。投手がリズムをつくれないと、時に打線に影響する。

「互いによく知る。握手を交わす長崎商の西口博之監督(左)と山梨学院の吉田洸二監督(右)は、相手監督の印象は。」



西口 常にしたたか。しんの強いぶれない監督だ。

吉田 きっちりしている。自分にはないものを持っている。

「初戦への意気込みを。西口 29年ぶりの思いを込めて力強く戦いたい。」

吉田 培ってきたものを9イニングにぶつけたい。

平常心大事にプレー

森口 敦史選手 (2年)



観客席を埋め尽くす人々。グラウンドに一步踏み出した瞬間に目に入りました。7日の開会式で入場行進した時はあまりの観客の多さに緊張しました。同時に、憧れの甲子園で行進できることが本心にうれしかったです。甲子園は夢の舞台。来当初は気持ちが高まりましたが、いまは落ち着いて練習に取り組んでいます。試合では自分たちがやることをやるだけだと思っています。

開会式を終え、より初戦が待ち遠しくなりました。平常心で自分の力を出せるようにしたいです。

長崎商きょう登壇

守り勝つ野球貫く

長崎商・西口監督

山梨学院・吉田監督

生徒と一体感持つ

本県代表の長崎商は9日の第2試合(10時30分)で、山梨学院との初戦に臨む。相手は、地方大会のチーム打率が4割9分で全49代表中トップ。清峰の監督時代に春の選抜制覇を成し遂げた本県出身の吉田洸二監督が率いる。長崎商の西口博之監督と吉田監督に意気込みなどを聞いた。(山口栄治)

監督対談

―目指す試合展開、意気込みを。

西口 長崎大会同様、大量失点をしない守り勝つ野球を貫き通したい。(長崎に原爆が投下された)8月9日という特別な日に試合をさせていたたく。相手は本県出身の監督だし、29年分の思いを込めて戦いたい。

吉田 気分には左右されやすいチーム。プレーボールの前からノリのいい状態にしたい。甲子園はコールドがないので、9イニングしつかりできる。冬に厳しくやってきたことをぶつけたい。生徒と一体感を持った試合にできたらと思う。

―勝利のために鍵になりそうな選手は。

西口 本田―小出のバッテリーを中心にしたセンターラインの守り。

吉田 2年生投手の3人。

投手のリズムが打線にも影響するから。

―今のチーム状態は。
西口 コンディションは全体的にいい。バッターの調子も上向きだ。

吉田 メンタルの部分は山梨大会と同じ。体調面は山梨大会より良くなっている。

―相手チームの印象、警戒する選手は。

西口 打ち出したら止まら

対戦を前に握手を交わす長崎商の西口監督(左)と山梨学院の吉田監督

甲子園

守りでリズム作る 長崎商・西口監督 2年生3投手カギ 山梨学院・吉田監督

きょう対戦



全国高校野球
選手権大会
第98回

主催/朝日新聞社・日本野球連
後援/毎日新聞社 特別協力/阪神甲子園球場

長崎商は9日、第2試合(午前10時半開始予定)で山梨学院(山梨)と対戦する。長崎商・西口博之監督と、清峰をかつて率いた山梨学院・吉田洸二監督は旧知の仲。2人に初戦に向けた意気込みなどを聞いた。



長崎商・西口博之監督(左)と山梨学院・吉田洸二監督=阪神甲子園球場



長崎商 VS 山梨学院
権江博・大阪学院大高監督の
名将チェック

山梨学院は、地方大会で出場校中トップの打率4割9分を誇る強打のチームだ。攻撃力を背景に山梨大会では全試合で先制し、試合を優位に進んできた。対する長崎商はエース本田が長崎大会5試合を1人で投げ抜いた。右打者へのシュートを武器にして、相手の強打線を打たせて取りたいところだ。攻撃では先制点をとることで相手を浮足立たせたい。山梨学院の吉田監督は、長崎・清峰でも指揮をとった。長崎代表に勝ちたい気持ち強いと思う。その点でも注目したい。

(尽誠学園で2002年春夏連続8強)

BS朝日で生中継

——相手チームの印象は
西口 強力打線のイメージだが、左右の投手も良いので投打のバランスが取れたチーム。
吉田 長崎大会での失点が少なく、投手を中心にまとまりが良い。
——理想の試合展開は
西口 大量失点せず、守りからリズムを作って1点ずつ取るという自分たちの野球ができれば。
吉田 気分は左右されやすいところがあるので、試合前からノリが良い状態でいきたい。
——相手の注目選手は
西口 右打者、左打者がある、主将の滝沢君をは
吉田 スイングや投手のボールのキレは上り調子。
——チームの状態は
西口 コンディションは良い。長崎大会で不調だった打撃陣も調子が上がってきている。
吉田 2年生投手3人。経験が少なく絶対的エースを兼ね、培ってきたものを全部ぶつけたい。
——意気込みを
西口 8月9日に長崎出身の監督と試合ができる縁を感じる。29年ぶり出場の思いを込めて力強く戦う。
吉田 冬場の厳しい練習を含め、培ってきたものを全部ぶつけたい。

——長崎県内で同じ時期に監督をしていた。お互いに
吉田 投手の本田君。長崎大会の暑い中、決勝で完封した精神力や技術を、常にもの強い、ぶれない監督というイメージ。
吉田 長崎商はまさに、西口先生のカラーの野球。きっちりされている。

長崎商

きょう対戦
第2試合

山梨学院

西口監督「1点ずつ着実加点」

全国高校野球大会に出場している長崎商は第3日の9日、第2試合で山梨学院(山梨)と対戦する。長崎商・西口博之、山梨学院・吉田洸二の両監督が初戦に向けて意気込みを語った。



健闘を誓う長崎商・西口監督(左)と山梨学院・吉田監督(甲子園球場で)

吉田監督「打線攻略し勝機に」

西口監督は山梨学院打線について、「打ち出したら止まらない印象。大量得点を許してはいけない」と語った。「粘り強く守り抜き、1点ずつ着実に加点し、勝機を見いだしたい」と意気込み、「長崎大会で不調だった選手の調子も上向きで全体的に上り調子」と自信をのぞかせた。また、「(長崎原爆の日の)8月9日に試合ができる意味や県民の思いを感じながら戦いたい」と話した。
一方、吉田監督は長崎商について「投手を中心にまとまりがある」と指摘。「経験の浅い3人の2年生投手が長崎商打線を攻略することが勝機につながる」と勝負のポイントを語った。

夏の
高校
野球

全国大会

長崎商 9回反撃あと一步

9回長崎商無死1、3塁、森海稀が適時打を放つ(9日、甲子園球場で)



▽1回戦	長崎商	山梨学院
000	000	000
201	000	20X
53		

全国高校野球大会第3日の9日、長崎商は山梨学院(山梨)に3-5で敗れ、2回戦進出はならなかった。29年ぶり7度目の出場を果たした甲子園で、選手たちは、はつらつとしたプレーを展開。八、九回に追い上げをみせてスタンドを沸かせたが、あと一步及ばなかった。

夏の高校野球

全国大会

はつらつプレー 観客沸く

長崎商は、エースの本田一政投手が立ち上がり力を認められ、初回に2失点。その後も、再三にわたって得点圏に走者を背負い、七回までに5点のリードを許す苦しい投球を強いられた。攻撃陣は八回、吉田敏貴選手の犠飛で1点、九回には森海稀選手の適時打などで2点を返して一気に反撃ムードが高まったが、後続が断たれた。

試合後、西口博之監督は「もう少し早い回で点を取りたかったが、選手たちは粘り強くやってくれた」とたたえた。

信頼し合うバッテリー

一球一瞬

「あいつがいなければ今の自分はない」。そう信頼し合う2人で最後の夏を戦い抜いた。

強気な投球で地方大会5試合を一人で投げ抜いた本田一政投手(3年)がこの日は違った。ボールが高めに浮き、一回、先頭打者からの3連打で2失点。さらに追加点を奪われ、四回には二死満塁のピンチを迎えた。硬さが残っていると感じた小出凌太郎捕手(3年)はマウンドに駆け寄り、「もっと自分らしく思い切れ」。吹っ切れた本田投手はサインにうなずき、内角高



4回マウンド上に集まる本田(左)、小出のバッテリー

本田一政投手(3年)・小出凌太郎捕手(3年)

めに直球を投げ込んだ。空振り三振を奪い、切り抜けた。2人がバッテリーを組んだのは昨秋。小出選手は捕手の経験がほとんどなかった。本田投手は元々は捕手。「なんでもそのボールを要求するんだ」。捕手のことを知っているだけに遠慮がなかった。夏の地方大会を間近に控えた5月の九州大会初戦。九産大九州(福岡)に1-3で敗北を喫し、危機感を覚えた。配球の仕方得意をぶつけ合い、次第に息が合うようになった。本田投手は「最初は甲子園の雰囲気にもれたが、徐々に楽しめるようになった」。その言葉の裏には、ピンチを迎える度にマウンドに駆け寄り、「楽しもう」と鼓舞してくれた相棒の存在があった。「もうちょっと小出と一緒に野球をしたかった」と話す本田投手。小出捕手は「精いっぱいやったが、悔いは残っている」。言葉に込めた思いを2人はずっと、忘れないはずだ。(橋本龍二)

第98回 全国高校野球

甲子園で黙とうの円陣



長崎への原爆投下の時刻に合わせ、3分遅れで黙とうする長崎商ナインら（9日午前11時5分、甲子園球場で）

長崎原爆の日の9日、甲子園球場で、長崎商高（長崎市）の選手らが、グラウンドやアルプス席で黙とうし、犠牲者を追悼した。

原爆が投下された午前11時2分、選手たちは一回の守備中だった。この回が終わった同5分、ベンチ前で円陣を組み、脱帽し、目をつぶって冥福を祈った。

アルプス席では、ベンチ入りできなかった部員が長崎のある南西を向き、約10秒間目を閉じた。永尾魁紳さん（3年）は「特別な日に試合ができることに感謝した」と話していた。

手製のお守り
首に下げ声援



お手製のお守りを首から
下げて、長崎商ナインを
応援する並内祐希さん

平和な未来信じて

長崎商のアルプス席では、野球部員らがそろいの「お手製お守り」を首からぶら下げ、ナインに熱い声援を送った。

「お手製お守り」を首からぶら下げ、ナインに熱い声援を送った。

お守りは、赤色のフェルト地に「必勝」という黄色の刺しゅうが入り、裏面に選手の名前が縫い込まれて

いる。女子マネジャー6人が、宿舎入りした2日から練習の合間を見つけ、作製。初戦の9日朝、部員や監督ら計85人分を完成させた。

中心となった並内祐希さ

ん(18)は「ケガなく頑張っ
てほしいと願いを込めなが
ら作った。苦しい戦いだっ
たが、最高の夏になった」
とナインをねぎらった。

[illegible]

迫力の演奏 ナイン鼓舞

吹奏楽部員ら70人



スタンドを盛り上げた吹奏楽部。指揮するのは松島さん(右)

長崎商のスタンドでは、吹奏楽部の部員ら約70人が大迫力の演奏でナインを鼓舞した。

指揮をした顧問の松島ひとみ教諭(54)は前回出場した翌年の28年前に同校に着任。初の「甲子園出場」に、

吹奏楽部は7月、県吹奏楽コンクールで金賞を受賞。通常練習の合間を縫い、応援の練習を重ねた。試合中は、チャンスの場面で「ミッキーマウスマーチ」を奏でて、応援席を盛り上げた。

「連れてきてくれた野球部に感謝しています」と感慨に感謝しています。3年の小野舞夕部長は、「(17)は「同級生が甲子園でプレーする姿は格好良かったです。最後まで頑張ってくれてうれしいです」と笑顔で球場を後にした。

第98回 全国高校野球

長崎商・主将 攻守に悔い



6回長崎商2死1、2塁、小出は左飛に倒れる(捕手・五十嵐)

長崎商の小出主将には悔いの残る試合となった。4番を任される打撃では六回二死一、一塁で、狙っていた変化球を捉えきれず左飛。八回は、味方が1点を返した後の二死二、三塁で遊飛に倒れ、「自分が決めるという意識が強すぎて、次につなぐ平常心を失っていた」と振り返った。

守備では捕手として2点を失った一回のリードで「もっと内角を攻めれば本田の外角球が生きた。僕が相手の力を甘く見て、工夫が足りなかった」と自分を責めた。「チャンスに打てず、リードも甘かった。自分のせいで負けた」とうなだれた。

長崎商・西口監督「本田はよく低めを突いていたが、高く浮いた球をしつかりスイングされてしまった」

西日本新聞

2016年(平成28年)8月10日 水曜日



「長崎原爆の日」の9日、全国高校野球選手権大会で長崎商(長崎)は山梨学院(山梨)と対戦した。山梨学院の吉田洸二監督はかつて長崎県で清峰などを率い、長崎商の西口博之監督とは旧知の仲。両監督はそれぞれ選手たちに平和の尊さを伝え、試合に臨んだ。原爆投下時刻の午前11時2分、甲子園のグラウンドでその時を迎えた両校は追悼の思いを共有し、野球ができる喜びをかみしめた。

野球できる喜びかみしめ

長崎商甲子園で黙とう

投下時刻直後、長崎商ナインは二回表の攻撃前にベンチ前で円陣を組み、黙とうをささげた。写真(撮影・石川彰保)。スタンドの応援団も長崎のあるライト方向を向き、目を閉じた。山梨学院側のスタンドも囁り物や声援を一時中断し、ともに祈った。

黙とうには両監督の思いが込められていた。「当たり前の日常がなくなってしまうのが戦争だ」。山梨学院の吉田監督は7日夜、宿舎に選手たちを集めて話した。長崎商が試合の合間に黙とうすると知り「うちも一緒にやろう」とナインに話した。

呼び掛けた。

吉田監督は長崎県佐世保市出身。自身も毎年黙とうしてきた。試合では長崎のメンバーが黙とうする子が見えず、機を逃した。「野球ができる平和の尊さを考える機会になったと」と話した。

試合中、選手とともに黙とうした長崎商の西口監督は「長崎にとって特別な日に、相手校も協力してくれているのが本場にうれしかった。試合には敗れたが、甲子園で山梨学院と対戦できてよかった。頂点を目指してほしい」とエールを送った。(黒田加那)



(攝影・軸丸雅訓)

長崎商 意地の反撃



山梨学院戦で完投した長崎商の先発・本田

第98回全国高校野球選手
権大会第3日は9日、甲子
園球場で1回戦4試合が行
われ、横浜（神奈川）常総
学院（茨城）山梨学院
戸学院光星（青森）が勝っ
て2回戦に進んだ。

横浜は先発の藤平が7回
途中まで13三振を奪う力投



第3日

を披露。持線も公家の3ラ
ンなど効果的に得点し、7
―1で東北（宮城）に快勝
した。

常総学院はそつのない攻
撃で得点を積み重ね、3投
手の継投で近江（滋賀）を
11―0で退けた。

山梨学院は5―3で29年
ぶり出場の長崎商を振り切
った。7回に追加点を挙げ、
終盤の反撃をしのいだ。山
梨学院は21年ぶりの勝利。

八戸学院光星は延長十
回、田城の適時内野安打で
決勝点を奪い、33年ぶりに
出場した市尾崎（兵庫）を
5―4で破った。

きのうの成績

常総学院 11-0-1 近江
横浜 7-1-1 東北
山梨学院 5-3-3 長崎
八戸学院光星 5-4-4 市尼崎

終盤、2点差に迫る

▽1 回戦(第2試合)

$$\begin{array}{r}
 \text{長崎商船} \\
 \text{山梨学院} \\
 \hline
 2001 \\
 0000 \\
 2001 \\
 \times 2 \\
 \hline
 53
 \end{array}$$

山梨学院が逃げ切った。一回に一番上田からの3連打で2点を先取。三回は犠飛で加点し、七回は犠飛と適時打で2点を加えた。早いカウニングが、及ばなかった。

小さなエース、691球の夏

本田 予選から全戦完投

29年ぶりの甲子園で長崎商が最後に意地を見せた。4点を追う九回に7番森海稀(3年)の適時打などで2点を追加し、2点差まで追いつけた。「こんな場所で野球をやらせてもらった幸せ。29年分の思いを持って野球をさせてもらった」。西口博之監督は聖地で、1時間54分を振り返った。長崎大会全5試合を完投した選手もいる。「大事な日

したエース本田一政（同）に最高の時間を過ごさせて
が5失点ながら132球で
完投、初回の立ち上がり「雰
囲気にもまれた」といきな
り3連打で2点を奪われ
た。

「ホームランを打たれて
もいけん、笑顔で投げ
ろ」。女房役の小出凌太郎
（同）の言葉で笑みをつく
り、六回以外は毎回走者を
背負いながらも丁寧に投げ
続けた。165センチの小さな
エースは出場校で唯一、予

に最高の時間を過ごさせて
もらった」と本田も特別な
思いを持ってマウンドに上
がっていた。

1952年以來の勝利には
屈かなかったが、精いつ
ぱいのプレーは長崎にも屈
いたはずだ。「甲子園に来
たことを目標にしてほし
た。来年は甲子園で勝つこ
とを目標にしてほしい」。

エースは後輩に勝利を託し
た。

（前田泰子）

(前田泰子)

[illegible]

33年ふりに出場した市尼崎(兵庫)を5-4で破った。

◆田敏貴三塁手（３年）
（八回に中犠飛を放ち）いい打球が飛んで良かった。２ストライクと追い込まれて、何とか食らいついた。外角低めのスライダーをコンパクトに振った。

◆田中虎次郎中堅手（３年）
最高の舞台でプレーできてうれしい。ボール球を振ってしまい、自分のバッティングができなかったのが、心残り。これから課題にしたい。

◆井上弘太左翼手（３年）
高校入学前に他界した祖母の葬式で、甲子園出場を誓っていた。勝ちをプレゼンしたかったが、こまで来られて良かった。観客の多さにびっくりした。

◆池田碧左翼手（３年）
（途中出場ながら九回に打点を記録）いつでも使ってもらえるように準備していた。初球から積極的に打って次につなげたかった。負けたのはやっぱり悔しい。

◆澤山礼宏右翼手（２年）
（初回に初球を打ちチーム初安打）勢いを付けたくて狙って打った。もともとは投手なので（本田）一政さんを超える存在になって甲子園で勝たたい。

◆元村菜大内野手（２年）
（八回浅めの中飛で二塁から三塁にタッチアップ）代走で使ってもらい、うれしかった。チャンスを広げて、思い切り走った。自分たちの代でも甲子園に来る。



「1回戦、長崎商・山梨学院」粘りの投球で完投した長崎商のエース本田

■甲子園 田中英樹撮影

回を追うごとに取り戻した「らしさ」

○長崎商の遊撃手森海が2安打1打点を記録。守備でも2併殺を完成させるなど、攻守両面で活躍した。「力投している」本田を守りでもバットでも助けたらいいなと思った。できたかな」と誇らしげだった。

7番打者ながら、「チームのためにつなぐことだけを考えて」と気を吐いた。二回2死無走者で回ってきた初打席は、左翼線へ二塁打。九回無死一、三塁の好機では右前へ適時打を放ち、反撃ムードを高めた。

小浜中2年時、軟式野球の全日本少年春季大会を経験した。チームメイトが私立の強

「1回戦、長崎商・山梨学院」9回表長崎商無死一、三塁森海が右前に適時打を放つ

■甲子園(田中英樹撮影)



豪校や地元の高校へ進む中、「公立校で甲子園へ行きたい」と長崎商の門をたたいた。「最初は不安もあったというが、西口監督の指導の下、仲間と一緒に日々成長。夢をかなえた3年生は「最高の舞台を築しめた」と充実した表情でグランドを後にした。(中島崇雄)

白球

小さなエースの夏が終わった。長崎大会の5試合で防御率1.00だった長崎商の本田が、初回3連打を浴び、いきなり2失点。二回以降も毎回のように走者を背負った。そんな苦しい投球を救ったのが「いつも自分を支えてくれる」と誰よりも信頼を寄せる捕手の小出の言葉だった。

「いいから楽しめ」「逃げるより」ホームラン打たれる。ピンチの度にマウンドに駆け寄り、鼓舞し続けてくれる相棒。その一言一言に勇気づけられ、だんだん自分らしさを取り戻した。回を追うごとに持ち前の切れのある球

が、低めの内外角に決まり始めた。この変化を山梨学院の吉田監督も感じ取っていた。「めったにバントはさせない」という指揮官が「予想以上の投球だったから1点を取りに行った」と四回無死一塁で送りバントを選択。その後、四球と安打で2死満塁となったが、本田は初回に適時二塁打を放っていた2番宮下を三振に仕留めた。

「序盤はふがいない投球だったけど何とか力は出し切れた。甲子園のマウンドは最高だった」。すがすがしい表情で憧れの舞台を去った。(山口栄治)

エース本田「力を出し切れた」



八回に吉田の機飛で1点を返し、沸く長崎商の応援団

「新しい歴史 感謝」スタンド、学校 熱く

○スタンドには長崎商の生徒や保護者ら約800人が、バス25台で駆けつけた。OBも各地から続々と集まり、2000人を超える大応援団が、三塁側のアルプス席から熱いエールを送った。

吹奏楽部の演奏に乗せ、踊りや歌で懸命に応援を続けた。八回に吉田の機飛で1点を返し、九回に森海の適時打などで2点差に迫ると、盛り上がりは最高潮に。惜しくも反撃は届かなかったが、最後は温かい拍手に包まれた。森海の父、久之さん(42)は「長商らしい粘り強い野球だった。

新しい歴史を刻んでくれて感謝している」と健闘をたたえた。

長崎市泉町の同校でも生徒、教員ら約150人と、長崎原爆の日に合わせて訪れた姉妹校の広島市商の生徒らがスクリーンを通して声援を送った。留守を預かる平野光明教頭(57)は西口監督とは古くからの同僚で、山梨学院の吉田監督は佐世保商時代の教え子という間柄。「最後まで諦めない長商魂」を見せてもらった。山梨学院にはうちの分まで頑張っている」と語った。(中島崇雄、湯村高大)

8・9「大事な日」

選手や応援団 黙とう

○71年前のこの日、長崎原爆で壊滅的な被害を受けた長崎商の監督や選手、応援団が午前11時2分前後に黙とうをささげ、犠牲者の冥福を祈った。長崎商は被爆当時、爆心地から約1.1キロの長崎市油木町にあった。一回表の攻撃が終わった10時55分ごろ、三塁側スタンドでは約600人の生徒や保護者、OBらが静かに目を閉じ、世界恒久平和と核兵器廃絶を祈った。

試合中の選手たちは一瞬、ベンチ前で円陣を組んで黙とうした。本田投手は試合前、「うちは全員が長崎県民のチーム。大事な日なので特別な思いがある」と話していた。(中島崇雄)



【1回戦、長崎商・山梨学院】ベンチ前で円陣を組んで黙とうする長崎商の西口監督と選手たち

＝甲子園(田中英樹撮影)

第3日(9日)



第98回
全国高校野球
選手権大会

主催/朝日新聞社・日本高野連
後援/毎日新聞社
特別協力/阪神甲子園球場

1回戦

八戸学院光星 5-4 市 尼 崎

山梨学院 5-3 長 崎 商

横 浜 7-1 東 北

常総学院 11-0 近 江

◇1回戦

長 崎 商 000 000 012 3

山梨学院 201 000 20× 5

長商魂 粘り発揮

⑩…山梨学院が長崎商を振り切った。一回に土田、宮下、知見寺の3連続長短打で2点を先制。先発の吉松が三塁を踏ませない好投で、六回2死一、二塁のピンチでは栗尾が好救援をみせた。長崎商は九回に森海が適時打を放つなど粘ったが、反撃が遅すぎた。

励まし合い、粘り強く戦う——。長崎商は夢の大舞台で動きが硬くなった前半に失点を重ね、強力打線の山梨学院にリードを許した。その後、堅実な守備でペースをつかみ、終盤に追い上げた。29年ぶりの甲子園。勝って校歌を歌うことはできなかったが、「長商らしさ」の粘りをみせた。

終盤、気迫の追い上げ

⑪…常に先制し、エース本 3連打で2点を先制された。田の粘り強い投球を中心に長 3連打で2点を先制された。三塁の好機をつくと、森海 崎大会を勝ち上がった長崎 三塁の好機をつくと、森海 商。甲子園では強打を誇る山 併殺を取るなど、本田が11安 梨学院に先制を許し、打線も 打を打たれながらも、粘り強 5安打に抑えられたが、最後 いたという適時打。さらに内 まで粘り強く戦った。 野ゴロの間に1点を返し、2 攻撃では、八回に吉田の犠 点差に詰め寄った。 飛でようやく1点を返した 「内角に入ってくるスライダ 手の小出が振り返った初回。 が、1-5で九回を迎えた。 1に体が反応した」と金属バ ット音を響かせたが、左飛に 終わった。ただ、試合終了後 のスタンドからは長崎商側だ けでなく、全体から健闘をた たえる拍手が送られた。



長崎商—山梨学院 八回表長崎商1死二、三塁、吉田の中犠飛で三塁走者本田(左)が生還。捕手五十嵐②=伊藤進之介撮影

長崎商のエース本田は一回、いきなり2短長打を浴び、2球で失点した。浮足立っていた自分を落ち着かせてくれたのは、マスクをかぶる小学校からつき合っている小出だった。「何でもいいから楽しめ、といい続けてくれた」

小学校のころは一緒にソフトボール。中学野球でチームは別れたが、高校でバッテリーを組むことに。「配球、気持ちの面。小出にしか助けられなかったといってもいいくらいです」と本田。小出も「2人でいい試合で終われました」と表情を和らげた。

●西口監督(長) 「相手のスイングは想像以上。七回に追加点を取られたのが痛かった。選手はよく声を出して楽しんでた。最後の粘りはよかった」

燃えたバトン部のチア

スタンドで70人、大声援



三壘側アルプススタンドで応援するバトン部のみなさん。右端が部長の磯田咲乃さん(3年)＝阪神甲子園球場

長崎商の全校生徒約800人のうち、約600人が詰めかけた三壘側アルプススタンドでは、バトン部の70人がチアリーダーとして盛り上げた。

長崎商にチア部はない。甲子園出場が決まってからバトン部が急遽チアリーダーを引き受けることになった。選手一人一人に違う振り付けがあり、全部で約20種類になるという。おそろいのシャツに赤いボンボンを持ち、声を張り上げた。部長の磯田咲乃さん(3年)は「盛り上がりやすい」と笑顔だった。

「い」と甲子園の雰囲気を目を輝かせていた。

試合は八回、吉田敏貴君(3年)の犠飛で初得点。父孝之さん(49)はスタンドで見ていた。「打ってくれと祈る気持ちだった。とてもうれしい」

九回には2点差にまで迫り、チアリーダーたちの応援は最高潮に。試合には敗れたが、磯田さんは「すごくいい経験になった。頑張って甲子園に連れてきてくれた野球部に感謝したいです」と笑顔だった。

(興野優平)



スタンドで祈る林田輝信さん(左から2番目)ら＝阪神甲子園球場

被爆者のOBも スタンドで黙禱



声援を送る生徒たち＝長崎市の長崎商

メガホン鳴らし 教室でTV応援

留守番の生徒165人

長崎市泉町の長崎商では9日、学校に残った生徒165人が教室や視聴覚室でテレビを通して応援。選手たちのプレーに一喜一憂しながら、声援を送った。

長崎商のスタンドにはOBの被爆者も駆けつけた。試合は第2試合。午前10時50分に始まり、長崎に原爆が投下された午前11時2分前後にスタンドでは黙禱を捧げる姿が見られた。

林田輝信さん(77)も仲間の3人と一緒に祈りを捧げた。小学1年の時に疎開先で被爆。避難所になった小学校に、血まみれになった人たちが次々とトラックで運ばれてきた風景を鮮明に覚えている。

初回に2点を先制されたものの、その後は本田投手が粘りの投球をみせた。七回に2点を追加され、一時は0-5とリードされた。しかし、生徒たちは逆転を信じて黄色いメガホンを打ち鳴らした。

八回に1点を返すと応援は一気にヒートアップ。会場の声援が最高潮に達したのは九回。2点を加えて2点差に迫り、「このまま逆転」と期待が高まったが、あと一歩及ばなかった。

最後まで大きな声援を送り続けた3年の下田ほのかさん(17)は「山梨学院は強かった。長崎出身の選手もいるので、『長商』の分まで勝ち進んでほしい」とエールを送った。(舞田正人)

序盤、流れつかめず

長崎商・西口博之監督 相手のスイングスピードに圧倒され、打ち負けた。(先頭を出した)一回にバスターが失敗して併殺となり、流れをつかみ切れなかった。ただ、最終回で粘れたのはよかった。ベンチにいてもスタンドからの大声援が聞こえ、力になった。

全国のレベル、痛感

長崎商・小出凌太郎主将 全国のレベルは甘くないと痛感した。打席で3度チャンスがきたが、しっかり振ることができなかった。エースの本田の調子はよかった。リードが甘かったと悔やんでいる。初回に硬くなってしまっ、楽しむことができなかった。

長崎相手、緊張した

山梨学院・吉田洸二監督 甲子園で一つ勝利できて非常にうれしい。相手が長崎代表で緊張した。初回の2点は、今年のチームらしい攻めだった。継投は、打たれそうな予感で代えた。九回は栗尾が決めにしようとして失敗。チームにとってもいい勉強になった。

九回、守備乱れ反省

山梨学院・滝沢虎太郎主将 先制点を取れて、チームの緊張が無くなった。自分が2度併殺に倒れて流れを止めてしまったが、周りがつないでくれた。四球から守備が乱れて失点した最終回が反省点。素振りを重ねて磨いた打撃で、次も2桁安打を打ちたい。

2016年(平成28年)8月12日

金曜日

考え動く野球見せた

29年ぶり甲子園を振り返る

最後まで笑顔を絶やさず、あきらめなかった。9日、長崎商は3-5で山梨学院に敗れ、甲子園で勝って校歌を歌う目標は果たせなかった。しかし、終盤に3点をかえす粘りをみせ、「長商らしさ」を全国にアピール。29年ぶりに出場した伝統校の歴史に新たな1ページが加わった。



長商☆魂

西口博之監督が掲げる、野球部のモットーは自ら考えて動くという「考動」。それは29年ぶりに出場を果たした甲子園の舞台でも、随所にあらわれていた。

大会開幕前の甲子園練習はグラウンドを使える時間が各校30分程度に限られている。長崎商の選手たちは、その甲子園練習前日の8月2日夜、限られた時間内の練習で、効率よく何ができるかを話し合った。

「メリハリせんば時間がなくなる」。主将の小出凌太郎君(3年)が呼びかけた。投球練習の時間はどれくらい取るか。走者は何塁に置くか。真剣な表情で、意見をぶついていた。

また長崎大会では、5試合を完投したエース本田一政君(3年)に、何度も内野陣が駆け寄って行った。西口監督は「投手は孤独。内野手が声

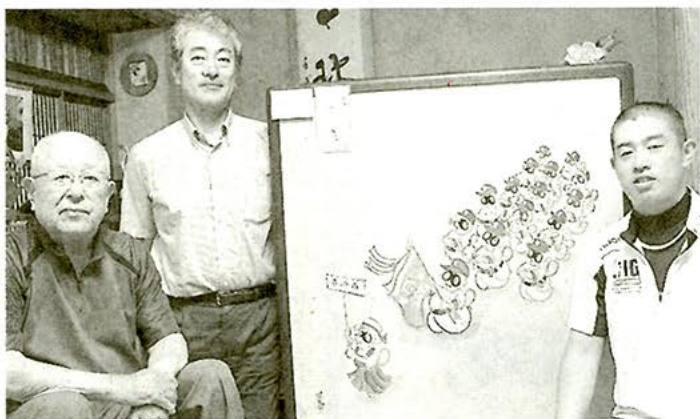
をかけるタイミングは難しく、簡単そうではなかなかできない」と言う。しかし、チームでは指示をしなくてもできていた。

甲子園での山梨学院戦も四回、ピンチの場面で内野手がマウンドに集まり、時折笑いながら話していた。捕手の小出君は本調子でない本田君に「ホームラン打たれてもいい。楽しい」と声をかけた。その後、チームは持ち前の守備力を発揮して、徐々に自分たちのペースを取り戻していった。

最後までベンチでも笑顔を絶やさなかった選手たち。八、九回で3点をかえす粘りもみせた。甲子園という大舞台でも自分たちの「いつも通りの野球」ができた。

(田部愛)

スタンドへのあいさつを終え、引き揚げる長崎商の選手たち。阪神甲子園球場、金居達朗撮影



左から、辻義雄さん、勝義さん、義大君。29年前の出場を記念して、義雄さんの知人の画家が描いた長崎商のユニホーム姿のたぬきたちの絵を家に飾る＝1日、長崎市

長商☆魂

家族で受け継ぐ

平野選手・辻選手

29年ぶり甲子園を振り返る

長崎商の野球部は1920年創部。29年ぶりの甲子園出場を多くの卒業生が喜んだ。今回のメンバーの中にも家族が長商OBという選手がいた。

二塁手の平野太陽君(3年)が長商野球部に入ることを決めたのは、3歳年上の兄・大海さんが長商野球部で長崎大会決勝で敗れた姿を見た時だった。「家族を甲子園に連れて行く」。その決意を受け継ぎ、帽子のツバには大きく「兄との約束」と書いていた。長崎大会で優勝したときには、大海さんが「ありがとう」と言ってくれたという。

3番打者としてチームを引っ張ってきた。甲子園では三つの四球を選んだ。持ち味の打力は発揮できなかったものの、八回には「1点でも多く取ろう」と盗塁に成功。試合後は「家族を最高の場所に連れてくることのできた」と笑顔を見せた。

一塁手の辻義大君(3年)は親子三代の「甲子園経験者」に。長商OBの祖父・義雄さん(80)は1954年、右翼手として甲子園に出場。父・勝義さん(49)は長商の現役選手としては甲子園出場がかなわなかったが、29年前の前回出場時に大学生コーチとしてノックをし、甲子園の土を踏んだ。

義雄さんは甲子園での経験について「胸にしまっておく宝物」と話す。これまではあまり自分の甲子園での話を語ってこなかった。義大君が知ったのも、高校に入ってからだ。

同じ高校の野球部とはいえ、義雄さんの時代とは全く違うという。「私の時代は肥えようと思っても食べ物もなかった」。ボールは何度も縫い合わせて使った。「針と糸を使うのは今も上手ですよ」。

義雄さんは陰ながら義大君を支えた。以前、義雄さんの家の屋上で義大君がバットイングをする時は、ボール出しをした。今回孫の代で29年ぶりの出場が決まり、「喜びもひとしおだった」という。

義大君は甲子園入りの前、義雄さんから「思いっきり振ってこい」と言われた。打席では祖父や父の顔が浮かんだが無安打に終わり、快音を響かせることはできなかった。「打てる姿を見せたかった。悔しい。でも、思いっきり振れた」。義雄さんはテレビで孫の姿を見守った。「練習しているから打てると思っていい。でも、頼もしかったです」。自分と同じ舞台に立った孫の姿に、成長を感じていた。(田部愛)



長崎商の選手たちは甲子園での経験を田上富久市長(左から4人目)に報告した＝長崎市役所

「あきらめない心を示した」 甲子園の戦い称賛

長崎市長

長崎商の選手らが12日、長崎市役所を表敬訪問した。甲子園では初戦で敗れたが、選手たちは「次は必ず1勝できるように後輩たちをサポートしたい」と話していた。

原爆投下と同じ8月9日に行われた試合。投下時刻の午前11時2分をグラウンドで迎えた選手たちは試合中に黙祷した。田上富久市長は「応援に行きたかった。でも最初は残念に思った。でも長崎でがんばっている時に甲子園でもがんばってくれてよかった」と話した。試合では七回裏までに5点をリードされたものの、八、九回で3点をかえして追い上げる粘りもみせた。田上市長は「最後まであきらめない心を示してくれた」と選手たちをたたえた。中堅手の田中虎次郎君(3年)は、観客と近い甲子園球場の様子を語り、「長崎の大会では感じられないものすごい雰囲気、自分たちのプレーができなかった」と悔しさをにじませた。西口博之監督は対戦した山梨学院(山梨)の選手たちの体格の良さに触れ、「バッターボックスに入る時、ダン、ダンと威圧感がある。重量感とスピードがあるのに、よく抑えたと思う」と振り返った。(八尋紀子)

4
—
3
清峰に競り勝つ

NHK杯高校野球

長崎商は四回一死一、三塁から、小出の犠飛で先制。直後に3失点したが、五、六回に1点ずつ返して同点とし、3-3の九回2死二塁、途中出場の森口が適時二塁打を

第64回NHK杯高校野球大会最終日は13日、長崎市の県営ビッグスタジアムで決勝が行われ、長崎商が清峰に4―3で競り勝ち、15年ぶり4度目の優勝を飾った。

▽決勝	長崎商	000
▽三塁打	森海(長)	111
▽二塁打	池田碧、森口(長)	001
▽試合時間	1時間56分	000
		000
		34

【評】機動力を生かした長崎商が1点差で勝利。両チームとも無失策の引き締まった好ゲームだった。長崎商は四回1死一塁から平野のヒットエンドランで一、三塁とし、小出の左犠飛で先制。1―3と逆転を許した直後の五回1死一塁から代走の元村が二盗、三盗を決め、本田の遊ゴロの間に生還。3―3の九回も2死一塁から本田が二盗し、森口の決勝打を呼び込んだ。

清峰は四回、4安打で計3点を奪ったが、五回以降は長崎商の本田に抑えられた。投手陣は岸川滉―豊村の継投で粘ったが、惜敗した。

の中前適時打で同点。さらに2死二、三塁から岩田の中前打で2点のリードを奪ったが、再び逆転された。

決勝は12日に予定していたが、雨でこの日に順延された。夏の甲子園出場を懸けた第98回全国高校野球選手権長崎大会は7月8日、57校が参加して開幕。組み合わせ抽選会は今日17日に実施される。

（松本文泰）



【決勝、長崎商―清峰】4回途中から登板し好投した長崎商のエース本田

● 県営ビッグNスタジアム（荒木勝郎撮影）

持ち味の「粘り強さ」発揮

チームの持ち味である「粘り強さ」をこの日も十分に発揮した。エース本田の気迫あふれる投球とバツクの堅守、足を絡めた攻撃で接戦をものにした長崎商。甲子園出場を懸けた夏の長崎大会の『前哨戦』を15年ぶりに制した。

本田は1点リードの四回、先発熊谷が連打されて

招いた一死一、二塁のピンチで登板。「準備不足だった」と適時打の本を許し、1ー3と逆転された。しかし、五回以降は、捕手小出の強気のリードにも助けられ、相手に三塁を踏ませない力投。切れ味鋭いシュートを武器に、直球、スライダーをコーナーに投げ分け、好調の清峰打線を2安打に封じ込んだ。

試合を決めたのは、3—3の九回2死一塁で打席に立った途中出場の森口。盗塁でチャンスが広がった後、スライダーに食らい付くと、打球は快音を残し、左翼線に落ちる適時二塁打となった。「自分で決める」と打席に入ったという2年生は、二塁上で小さくガッツポーズした。

準々決勝から3試合続けて1点差で勝利。西口監督

は「試合を重ねることに選
手たちは必死になっていっ
た。それが一番の収穫」と
うなずく。昨年と一昨年、
準決勝で涙をのんだ夏の長
崎大会に向け、手応えをつ
かんだ。主将の小出は「準
々決勝で海星に勝つて勢
いがついた。慢心すること
なく、みんなで集中力を保
つていきたい」と、29年ぶ
りの甲子園出場を見据え
た。

(松本文泰)



長崎商—清峰 二回裏清峰2死、
右翼手沢山が飛球を好捕＝県営

第64回NHK杯県高校野球大会の決勝が13日、長崎市の県営野球場であった。長崎商が清峰に逆転勝ちし、15年ぶり4回目の優勝を果たした。大会結果は、7月8日に開幕する第98回全国高校野球選手権長崎大会のシード校を決める際の参考になる。

①長崎商が小刻みに得点を重ね逆転勝利した。同点で迎えた九回、安打と盗塁で2死二塁とし、途中出場の森口の二塁打で勝ち越し。継投した本田が五回以降は失点を許さなかった。清峰は四回、打線がつながり3点を挙げたが、リードを守りきれなかった。

長崎商15年ぶりV NHK杯県高校野球 清峰に逆転勝ち

▽決勝(県営)
長崎商 000 111 000 1
清峰 000 300 000 1
3 4

▽決勝
長崎商 000 111 000 1
清峰 000 300 000 1
3 4
(長)熊谷、本田、小出(清)
岸川、豊村、森川、三塁打
森海(長)▽二塁打 池田
碧、森口(長)

日、長崎市の県営野球場であり、長崎商が4—3で清峰を破り、15年ぶり4回目の優勝を飾った。
長崎商は六回表、1死一、三塁から主将の小出凌太郎選手(3年)の犠飛で同点に追いつき、九回表、途中から出場した森口敦史選手(2年)の左翼線適時二塁打で決勝点を挙げた。森口選手は「自分の一振りで決めようと思った。相手投手のスライダーに食らいついた」と振り返った。西口博之監督は、準々決勝から決勝まで1

長崎商 15年ぶりV

①NHK杯高校野球 県大会①

最終回到決勝点 清峰制す

点差で競り勝ってきた今大会を振り返り、「粘り強く守り、いいところで一本が出た。必死さが出てきた」と話した。

【今野悠貴】



【長崎商—清峰】九回表長崎商2死二塁、決勝点となる左翼線適時二塁打を放つ森口選手

長崎商 000 111 000 1
清峰 000 300 000 1
3 4

▽決勝

長崎商は四回に1点を先制。すぐに3点を奪われ逆転されたものの、五回と六回に1点ずつ返して同点に追いついた。九回には、森口の適時二塁打で貴重な勝ち越し点を挙げ、そのまま逃げ切った。
長崎商の小出凌太郎主将(17)は「夏の大会に向けて、勢いを止めないように練習に励みます」と意気込みを語った。

第64回NHK杯高校野球県大会は13日、長崎市の県営野球場で決勝が行われ、長崎商が清峰を4—3で破り、15年ぶり4回目の優勝を果たした。

2016年(平成28年)6月14日(火曜日)

長崎商が優勝 NHK杯高校野球県大会



優勝旗を受け取る長崎商の選手

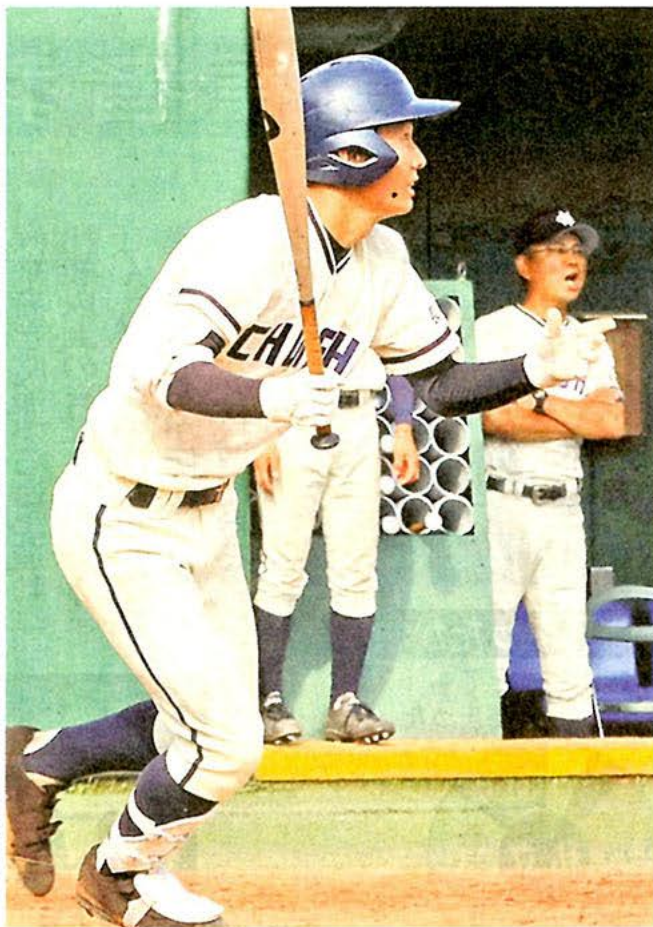
NHK杯県高校野球

きょう決勝

第64回NHK杯県高校野球大会第5日は11日、長崎市の県営ビッグNスタジアムで準決勝2試合が行われ、清峰と長崎商が決勝に進んだ。清峰は創成館に9-5で逆転勝ちした。初回に5失点したが、二回の久保の満塁本塁打などで追い上げ、四回に逆転。六回まで毎回得点

でリードを広げた。長崎商は延長の末、長崎総合科学大付に7-6でサヨナラ勝ち。十一回2死二塁、途中出場の吉田が適時二塁打を放った。最終日は12日、午後1時5分からビッグNで決勝を実施する。
(松本文泰)

長総大付に延長サヨナラ



長崎商

【準決勝、長崎総合科学大付―長崎商】延長11回裏長崎商2死二塁、吉田が左中間へサヨナラの適時二塁打を放つ
＝県営ビッグNスタジアム(荒木勝郎撮影)

▽準決勝
長崎総合科学大付
1100300001
23001000000

長崎商
(延長十一回) 00
▽二塁打 濱本2、峯(総)
吉田(商) 01x76

▽試合時間 2時間50分

【評】互いに粘り強く戦い、延長戦にもつれた競り合いを長崎商が制した。長崎商は初回に1点を先制されたが、直後に田中の

2点適時打で逆転。2-12に追いつかれた二回は足も絡め、森海の適時打などで再び3点のリードを奪った。6-5で迎えた九回に2死三塁から暴投で追いつかれたが、十一回、2死二塁の好機で吉田が適時二塁打を放った。長崎総合科学大付は、二回1死から登板した2番手東山が好投。打線も最大4点差を追いついたが、最後に力尽きた。

吉田が殊勲打

○…守備固めで九回から出場した長崎商の吉田が延長十一回、勝負を決める一打。チームを決勝の舞台に導き「何とかランナーを返したかった。サヨナラ打は初めて」と笑顔を輝かせた。6-6の十一回、2死二塁の場面で2度目の打席。一走平野が盗塁に成功し、好機が広がった。「前の打席で変化球を凡打したの

(松本文泰)

長崎商7-6

【長総大付】下 本 本 田井原藤付山竹
岩 峰 峯 仲向松近野東矢 計
8H8945726113

【長崎商】山海野出 田中原碧陸賀原村谷村田口善畑 計
19334877H79R1115H5

総振球	144	22	19
振球機	73	21	11
商	06	73	12
投手回	11	24	31
野山	9	38	6
東	1	13	8
澤山	22	13	8
熊谷	22	13	8
吉村	15	18	2
本	5	12	1

清 峰×創 成 館

長 総 大 付×長 崎 商

NHK杯県高校野球 4強決まる

第64回NHK杯県高校野球大会第4日は8日、長崎市の県営ビッグNスタジアムなどで準々決勝4試合が行われ、清峰、創成館、長崎総合科学大付、長崎商が4強に名乗りを挙げた。

清峰は四回に3点を先行し、豊村、岸川滉の継投で波佐見打線を零封した。創成館は先発林山が被安打5、10奪三振の好投で佐世保工に完封勝ち。長崎商は中盤以降、小刻みに加点し、選抜大会8強の海星を振り切った。長崎総合科学大付は初回に3点を先行して主導権を握り、九州文化学園に快勝した。

第5日は11日、同スタジアムで、準決勝2試合を実施する。

▽準々決勝

長崎商 000200210 45
海星 000000004 45
(長) 本田 小出
(海) 飯田、廣森、間、春田

▽本塁打 春田(海)▽二塁打 森海(長)田川(海)
(長) 291053461217
打安点振球犠盗失併残 35844100115
(海) 35844100115

長崎総合科学大付 3001101000 26
九州文化学園 1010000000 26
(長) 田中、東山、松原
(九) 下田、中野、浦里、萩坂、高嶋

▽二塁打 仲田、向井、近藤、峯(長)
(長) 4018683320013
打安点振球犠盗失併残 32523600109
(九) 32523600109

清峰 00003000210 06
波佐見 00000000000 06

(清) 豊村、岸川滉、森川
(波) 堀畑、平野、隅田、村川、竜、平野、黒田、山口
▽二塁打 岡崎2、千北、岸川滉(清)内野(波)
(清) 32964231104
打安点振球犠盗失併残 324050000005
(波) 324050000005

佐世保工 0000000000 10
創成館 0100000000 10
(佐) 初山、宮本
(創) 林山、大久保
▽三塁打 峯、宇土(創)
(佐) 305010321108
打安点振球犠盗失併残 308152010007
(創) 308152010007

2016年(平成28年) 6月27日 月曜日

2016 めざせ

甲子園
夏に懸ける57校

長崎商

29年ぶりのVへ闘志

本田ー小出のバッテリーを軸とした粘り強い野球が身上。本田は切れのいい直球と変化球に加え、ピンチにも動じない心の強さを持つ。バツクの守りも堅い。攻撃は小技も絡めて好機をつくり、シユアな打撃の平野、強打の小出につなげる。

昨年、一昨年は4強。今年はNHK杯を制して第2シードを奪った。29年ぶりの甲子園出場へ燃えている。

町淵屋堀崎浜北星彼上島江尾町本戸尾島崎
戸片岩深東小鳴海西西小福横戸勝大丸小野

3 3 3 3 2 3 3 3 2 3 3 3 3 2 2 3 3 3 3

太博之政太郎太陽史稀太郎宏介航久生大人貴汰碧平悟
井川本出凌義敦海弘次礼之善陸栞祐敏雄奨太悟

川口田小辻平野森井田中虎心谷田村畑田山田原川
西本小辻平野森井田中虎心谷田村畑田山田原川

長崎監督投手一塁二塁三塁遊撃左中右控
◎捕手墨二墨三遊撃左中右控
" " " " " " " " " "

シユアな打撃で中軸を担う長崎商の平野

長崎市、県営ビッグNスタジアム



2016年(平成28年)4月6日 水曜日

九州大会へ

九州地区高校野球県大会

大村工

長崎南山

長崎日大

長崎商

第138回九州地区高校

野球県大会第10日は5日、

長崎市の県営ビッグNスタ

ジアムなどで準々決勝4試

合が行われ、大村工、長崎

南山、長崎日大、長崎商が

ベスト4に勝ち上がり、九

州大会(23、28日・長崎市)

出場を決めた。大村工は初

の代表。長崎南山は22季ぶ

り11度目、長崎日大は7季

ぶり21度目、長崎商は13季

ぶり12度目。

大村工は初回、福田の2

点適時打などで一挙4点を

先行。第1シードの長崎総合

科学大付に12-2で六回コ

ールド勝ちした。長崎南山は

6-7の九回、塚本の中犠

飛で追い付くと、松田の二

塁内野安打の間に二走若杉

が本塁を突き、清峰に8-

7で逆転サヨナラ勝ちした。

長崎日大は2点を追う七

回、大塚の2点適時打など

で4点を挙げ、波佐見に7-

15で逆転勝ち。長崎商は

エース本田が佐世保高専打

線を4安打に抑えて、7-

0で七回コールド勝ちした。

第11日は9日、ビッグN

で準決勝2試合を実施す

る。(丸田理恵)

【準々決勝、佐世保高専-長崎商】7回を無得点に抑えた長崎商の本田

Ⅱ 佐世保市総合グラウンド野球場(山口隆行撮影)



長崎商 エース本田7回無失点

○長崎商の3年生右腕、本田が7回無失点と好投し、コールド勝ちに導いた。右打者の内角をえぐる切れのあるシュートを軸に、佐世保高専打線を4安打に抑えたエースは「しっかりと丁寧に投げられた」と満足そうに笑った。

1年時は捕手。昨春から背番号「1」を背負った。夏は2年連続4強で涙をのんでいるだけに「今度こそ甲子園へ」という思いは人一倍強い。「春に『てっぺん』を取って勢いに乗りたい」と気迫のこもった投球で8三振奪った。

準決勝は長崎日大と対戦する。西口監督は「目大打線は力のあるパワーヒッターばかり。九州大会や夏へ向けても、いい試合ができれば」と期待を寄せた。

(中島崇雄)

2016年(平成28年) 4月15日 金曜日

九州高校野球 長崎で23日開幕

海星は初戦 富島(宮崎)

大村工 日南学園と対戦

23日から長崎市で始まる第138回九州地区高校野球大会(春季大会)の組み合わせ抽選会が14日、同市内で行われ、出富島(宮崎)と顔を合わせ

西日本短大付(福岡)	24日か②12:30
長崎南山(長崎)	23日県①10:30
樟南(鹿児島)	25日県①10:00
富島(宮崎)	23日か②14:00
海星(推薦)	27日県①10:00
鹿児島実(推薦)	23日県②13:00
長崎日大(長崎)	25日か①10:00
九州学院(熊本)	24日県①9:00
佐賀商(佐賀)	28日県10:00
神村学園(鹿児島)	24日県②11:30
福岡大大濠(福岡)	25日県②12:30
大村工(長崎)	24日か①10:00
日南学園(推薦)	27日県②12:30
大分(大分)	23日県③15:30
秀岳館(推薦)	25日か②12:30
長崎商(長崎)	23日か①11:30
九産大九州(福岡)	24日県③14:00
糸満(沖縄)	

※丸数字は試合順
県…ビッグN、か…かきどまり

会場=佐世保市総合グラウンド野球場

25日10:00	24日10:30	26日10:00	24日13:00	25日12:30
奈留(長崎)	文徳(熊本)	八女学院(福岡)	創成館(長崎)	東九州龍谷(大分)
				鹿児島工(鹿児島)

本県からは県大会で初優勝した大村工、準優勝の長崎日大、4強入りした長崎南山、長崎商に加え、推薦枠で海星が出場する。大村工は24日の2回戦で日南学園(宮崎)、長崎日大は23日の2回戦で鹿児島実と対戦。いずれも選抜出場校に挑む。長崎南山と長崎商は23日の

九州高校軟式

奈留 準決勝から

創成館、初戦は東九州龍谷

第47回九州地区高校軟式野球大会(24、26日、佐世保市総合グラウンド野

球場)の組み合わせ抽選会が14日、長崎市内で行われ、出場6校の対戦相手が決まった。県勢は、第2代表の創成館が24日の1回戦で東九州龍谷(大分)と対戦。県大会優勝の奈留は25日の準決勝から登場し、文徳(熊本)―八女学院(福岡)の勝者とぶつかる。(丸田理恵)

1回戦で、樟南(鹿児島2位)、九産大九州(福岡3位)とそれぞれ対戦する。優勝争いは昨秋の九州大会を制し、選抜で4強入りした秀岳館(熊本)が軸。海星、鹿児島実、日南学園の選抜出場組のほか、神村学園(鹿児島1位)、西日本短大付(福岡1位)などの実力校が追う。

海星は選抜で好投した左腕春田が登録メンバーから外れるなど故障者が相次いでいるが、加藤監督は「目標は4強以上」と地元での奮戦を誓う。県大会で攻撃野球が開花した大村工、接戦を勝ち上がった長崎日大、強打の長崎南山、投打のバランスが取れた長崎商の活躍も期待される。(松本文泰)

各県代表18校熱戦

第138回九州地区高校野球大会(春季大会)は10、15日、長崎市の県営ビッグNスタジアムと長崎市総合運動公園かきどまり野球場で行われる。九州・沖縄の各県代表18校が参加する予定。当初は4月に実施予定だったが、熊本地震で延期。九州地区高野連は熊本地震復興大会として開催することを決めた。

熊本地震の復興も支援

本県からは5校が出場。推薦枠で出場する選抜大会8強の海星をはじめ、高い得点力で初の県王者に輝いた大村工、接戦を勝ち上がった長崎日大、強打の長崎南山、攻守のバランスがよい長崎商とそれぞれ特長のある好チームがそろった。地元大会での活躍を誓う県勢の横顔を紹介する。

(松本文泰、丸田理恵)

西日本短大付(福岡)	11日か②12:30
長崎南山(長崎)	10日県①10:30
樟南(鹿児島)	12日県①10:00
富島(宮崎)	10日か②14:00
海星(推薦)	14日県①10:00
鹿児島実(推薦)	10日県②13:00
長崎日大(長崎)	12日か①10:00
九州学院(熊本)	11日県①9:00
佐賀商(佐賀)	15日県①10:00
神村学園(鹿児島)	11日県②11:30
福岡大大濠(福岡)	12日県②12:30
大村工(長崎)	11日か①10:00
日南学園(推薦)	14日県②12:30
大分(大分)	10日県③15:30
秀岳館(推薦)	12日か②12:30
長崎商(長崎)	10日か①11:30
九産大九州(福岡)	11日県③14:00
糸満(沖縄)	

※丸数字は試合順
県…ビッグN、か…かきどまり

長崎商



攻守の要として活躍する長崎商の主将小出

県営ビッグNスタジアム(則行優志撮影)

13季ぶり12度目。バッテリーを中心に粘り強く守り、1点を大切に守る「しぶとい野球」が身上。4強入りした県大会は5試合で39得点、7失点と投打が合った。

投手陣は、昨春から背番号「1」を背負う右腕本田が大黒柱。身長168センチと小柄だが、切れのいい直球とシュート、シンカーなどの変化球をコーナーに投げ分け、大量得点を許さない。西口監督も「気持ち強い」と信頼を寄せる。これに伸び盛りの2年生澤山、県大会では登板しなかった吉村の両右腕が加わる。

攻撃は、足の速い1番井

しぶとく「つなぎ」意識

上らの出塁で好機をつくり、シユアな打撃の4番小と課題を挙げる。出ら中軸でかえすのがパター。犠打できつちりと走者を進める堅実さが持ち味の長崎商は、「出場校はどこの日大戦では大事な場面を送り自分たちの野球をやり、いりバントが決まらなかつた。西口監督は「基本のプ

部長監督	井川西口	太博	主将	出身	学年
◎印は主将	◎印は主将	◎印は主将	◎印は主将	◎印は主将	◎印は主将
井川西口	井川西口	太博	主将	出身	学年
本出	本出	一政	太郎	中町	3
小出	小出	太義	太郎	淵屋	3
平野	平野	敦史	海稀	堀崎	3
森井	森井	弘太郎	次郎	長北	3
田中	田中	虎次郎	宏太	星	3
澤山	澤山	礼大	悟生	彼町	3
元村	元村	栞太	喜人	崎尾	3
川原	川原	陸雷	貴人	重本	3
池田	池田	祐敏	翔輔	戸二	3
小畑	小畑	吉村	善之	上江	3
梅井	梅井			浦西	3
坂口	坂口				3
森村	森村				3
吉村	吉村				3